

令和4年度実施アンケート結果

I 県民

県政世論調査

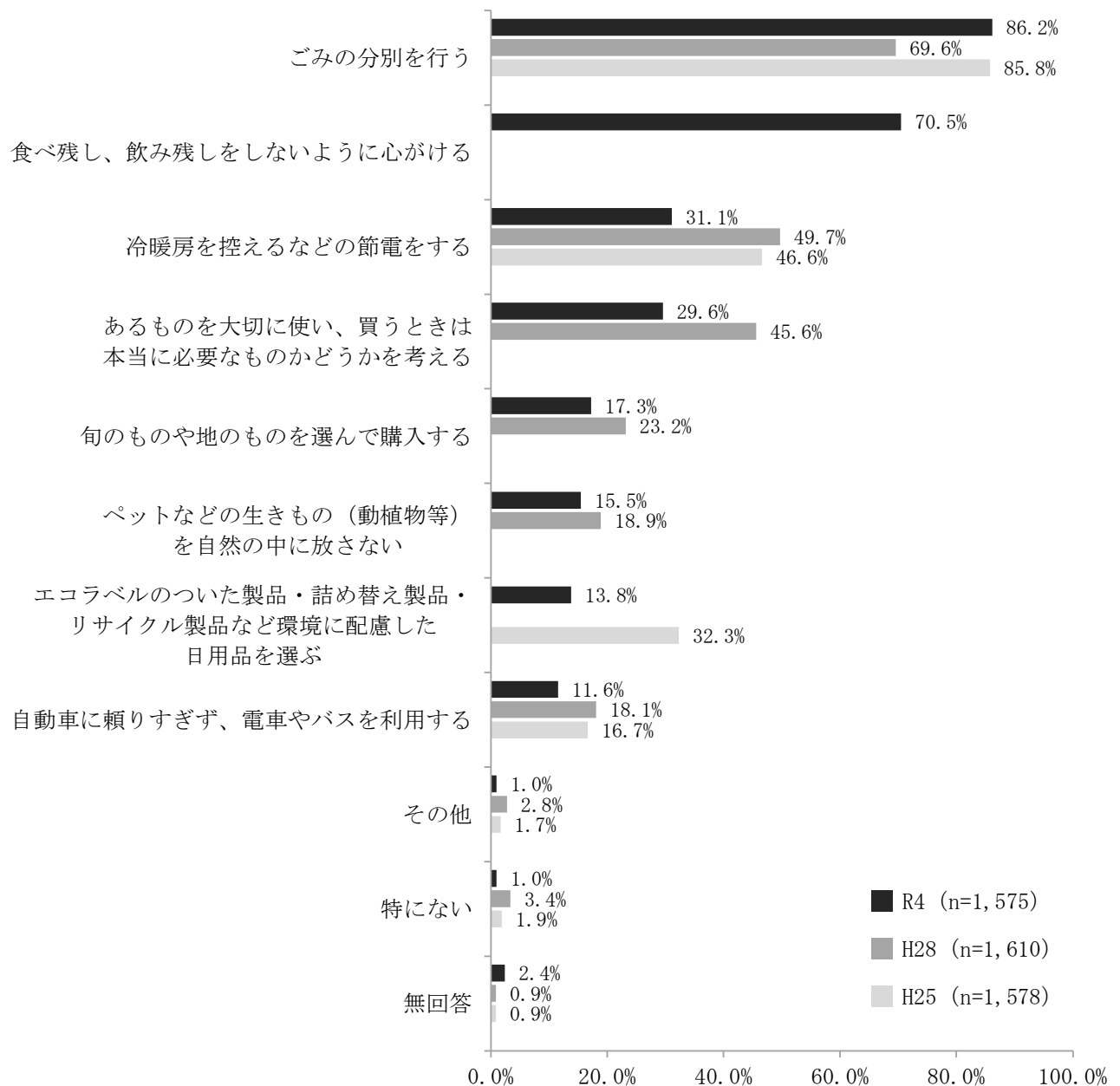
2022 (R4) :1,575/3,000 者 (52.5%)

2021 (R3) :1,647/3,000 者 (54.9%)

2016 (H28) :1,610/3,000 者 (53.7%)

2013 (H25) :1,578/3,000 者 (52.6%)

問1 あなたは、毎日の暮らしの中でどのようなエコアクションをしていますか。【〇は複数可】

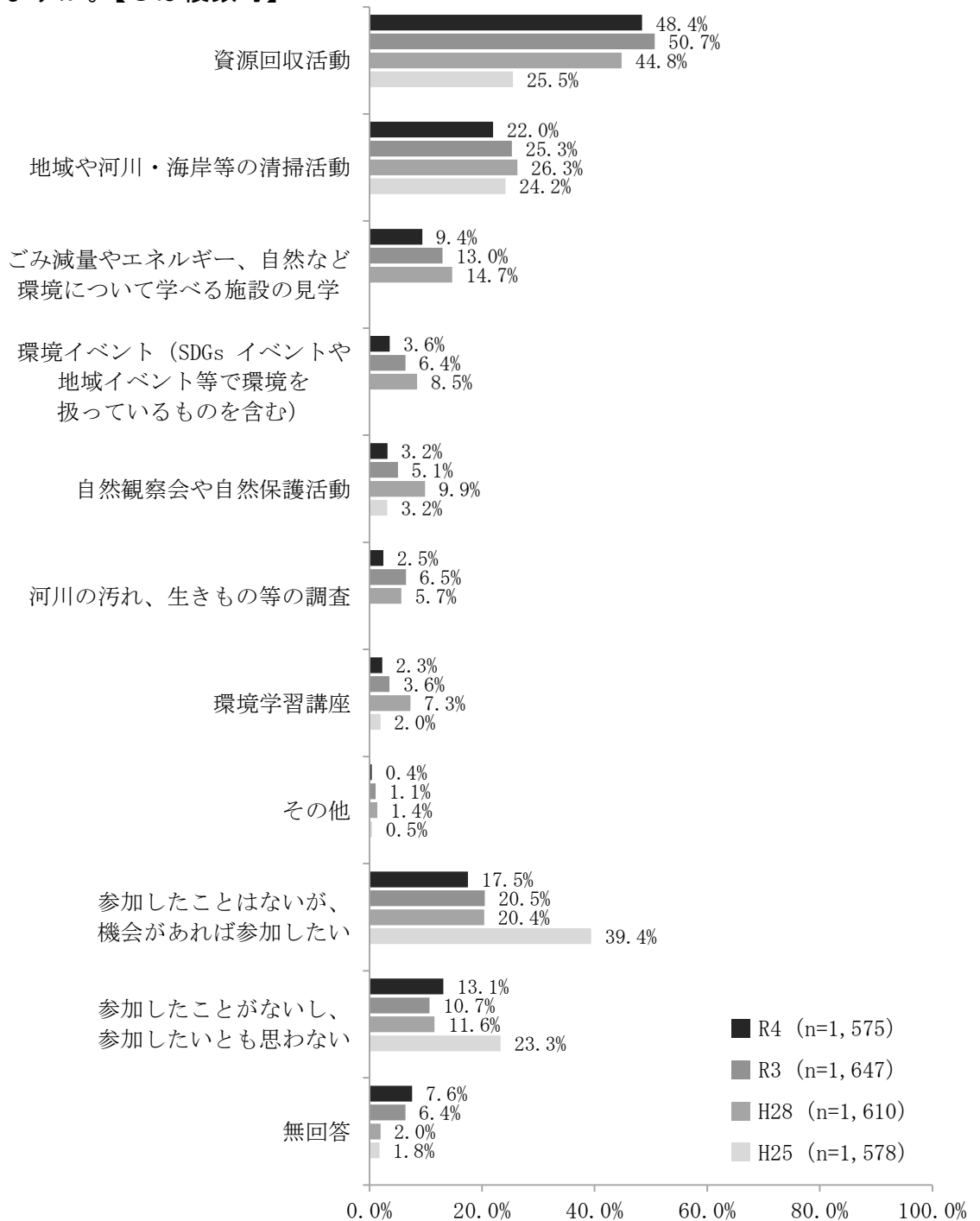


毎日の暮らしの中でのエコアクションに取り組む人の割合は、96.6%であり、2016 (H28) [95.7%]、2013 (H25) [97.2%] とほぼ同様の高い割合となった。

「自動車に頼りすぎず、電車やバスを利用する」といった利便性を犠牲にするようなエコアクションは実践率が低い傾向にある。

問2 一人一人が環境を大切に思う心を持ち、環境に配慮した行動へつなげていくためには、環境学習や環境保全活動に参加していくことが効果的です。

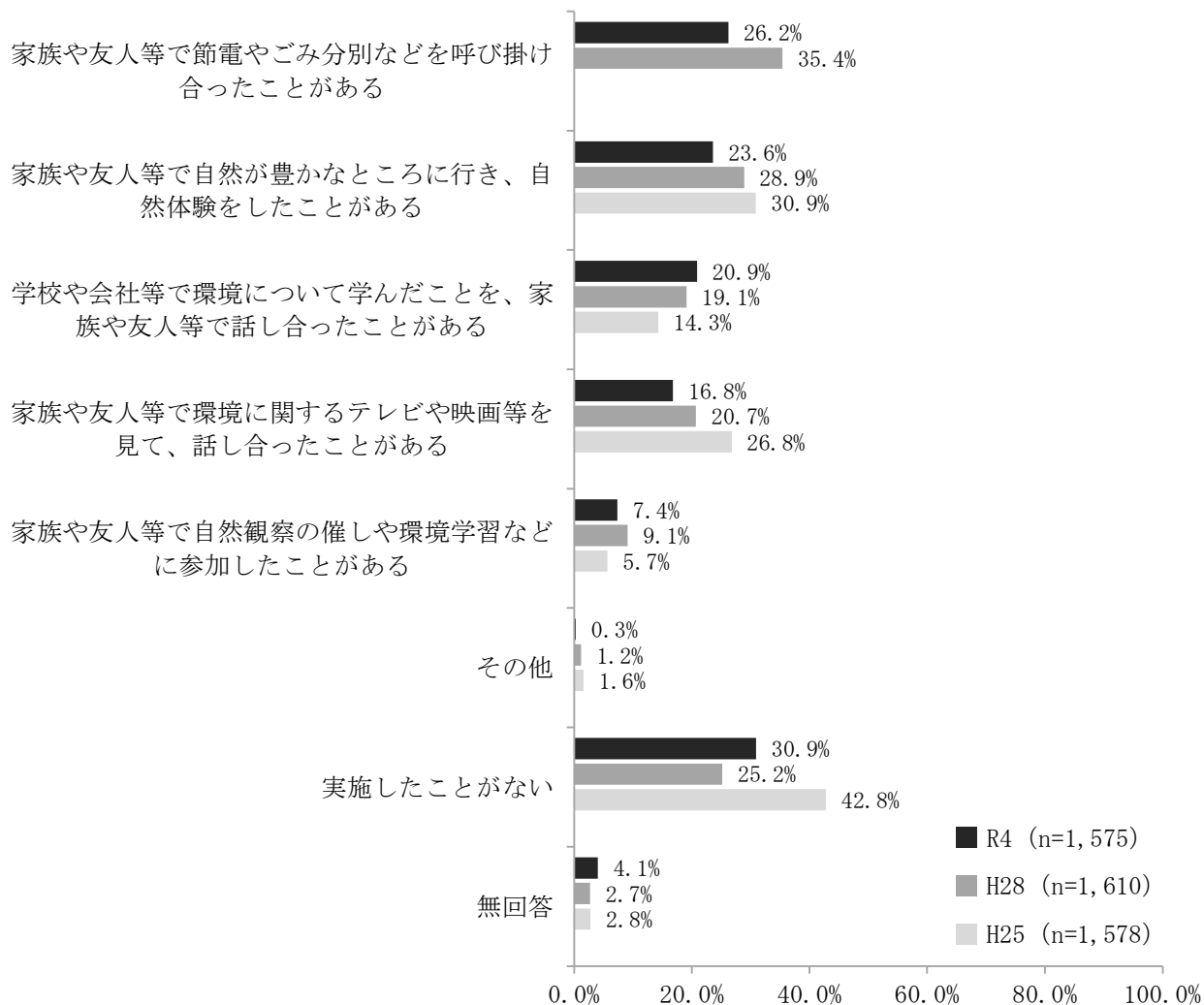
あなたはこれまでに、どのような環境学習や環境保全活動に参加したことがありますか。【〇は複数可】



環境学習や環境保全活動に参加したことがある、又は機会があれば参加したいと思っている人の割合は、79.3%であり、2021(R3) [82.9%] や2016(H28) [86.4%] よりもやや減少している。

「資源回収活動」や「地域や河川・海岸等の清掃活動」などの地域のつながりによる活動への参加状況は比較的高い一方、自主的参加意欲を要する活動である「河川の汚れ、生きもの等の調査」「環境学習講座」は低い水準であった。

問3 一人一人が日常生活において環境に配慮した取組を行うために、あなたは、家族や友人等と共に、次のうちどれをしたことがありますか。【○は複数可】



家族や友人等で環境についての話し合いや環境活動への参加をした人の割合は、65.0%であり、2016(H28) [72.1%] よりもやや減少している。

「学校や会社等で環境について学んだことを、家族や友人等で話し合ったことがある」については増加傾向にあった。

II 幼稚園・認定こども園

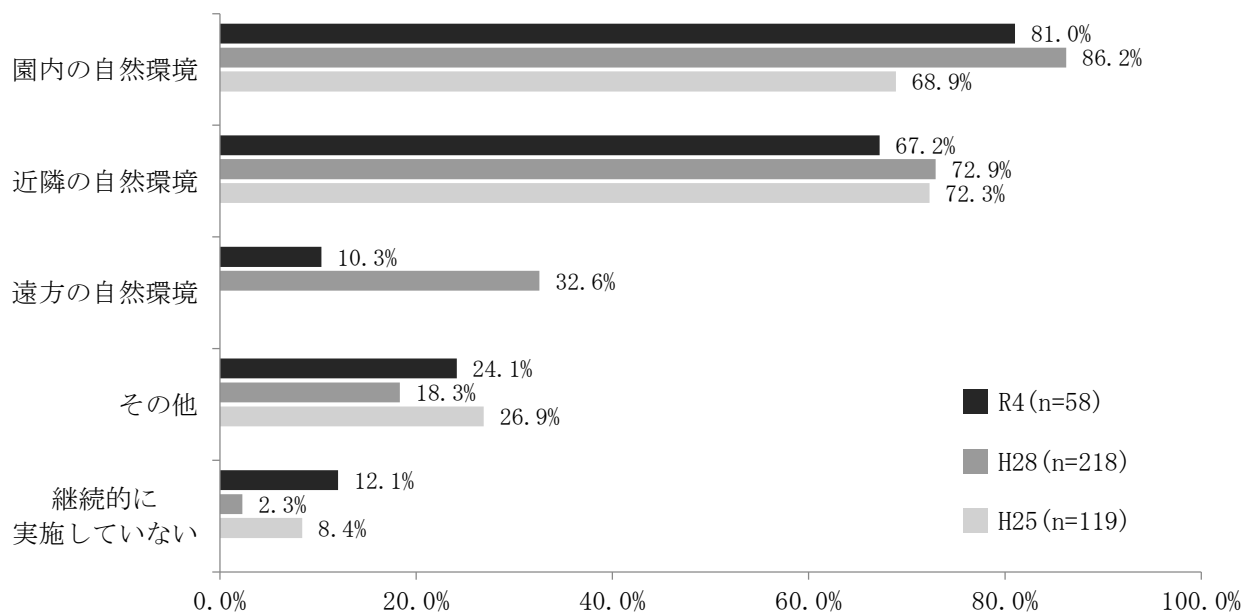
私立幼稚園、私立幼稚園型認定こども園、特別支援学校幼稚部

2022(R4) :58/344 園(16.9%)

2016(H28) :218/421 園(51.8%)

2013(H25) :119/421 園(28.3%)

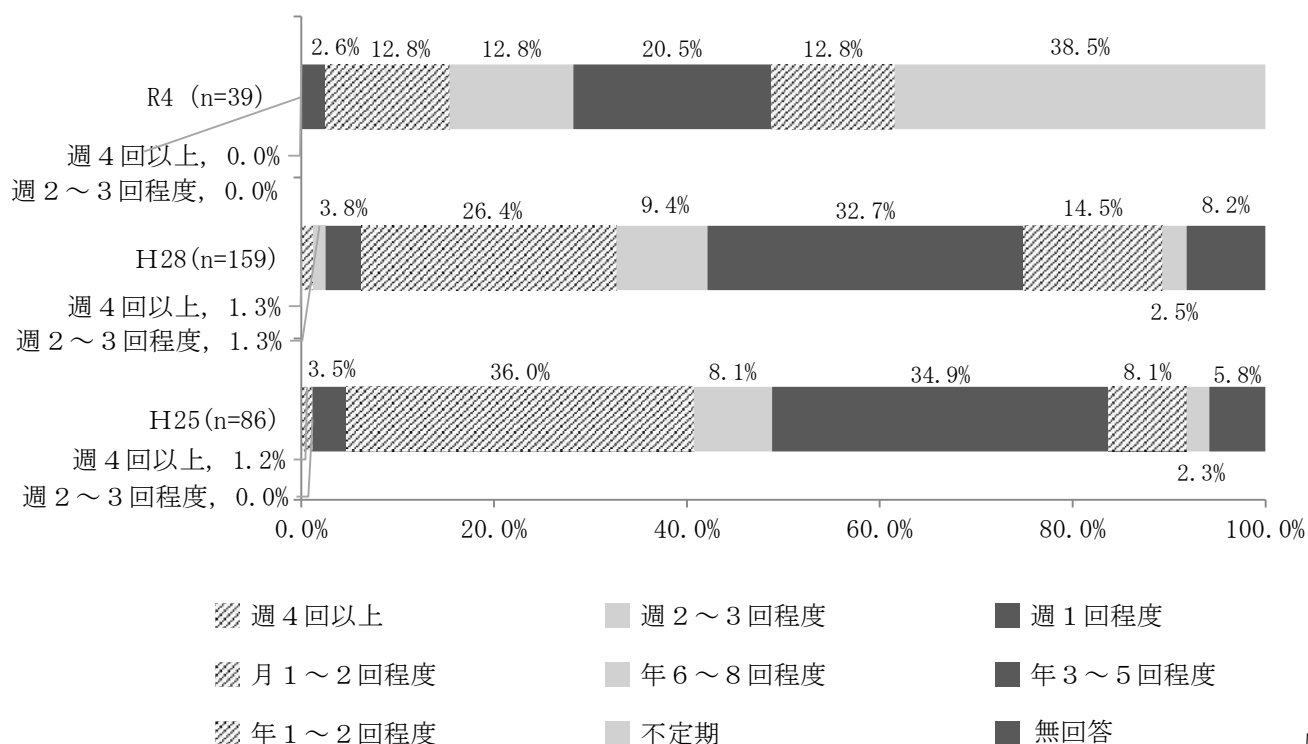
問1 幼児教育において自然体験は継続的に実施することが望ましいと考えられていますが、貴園では自然体験をどのような場所で実施していますか。【〇は複数可】



<その他> (抜粋)

- ・ 教室内での生物の飼育・観察
- ・ 野菜収穫体験

【近隣の自然環境での実施頻度】



問2 継続的な自然体験を実施したことで、幼児の行動や発言に変化はありましたか。

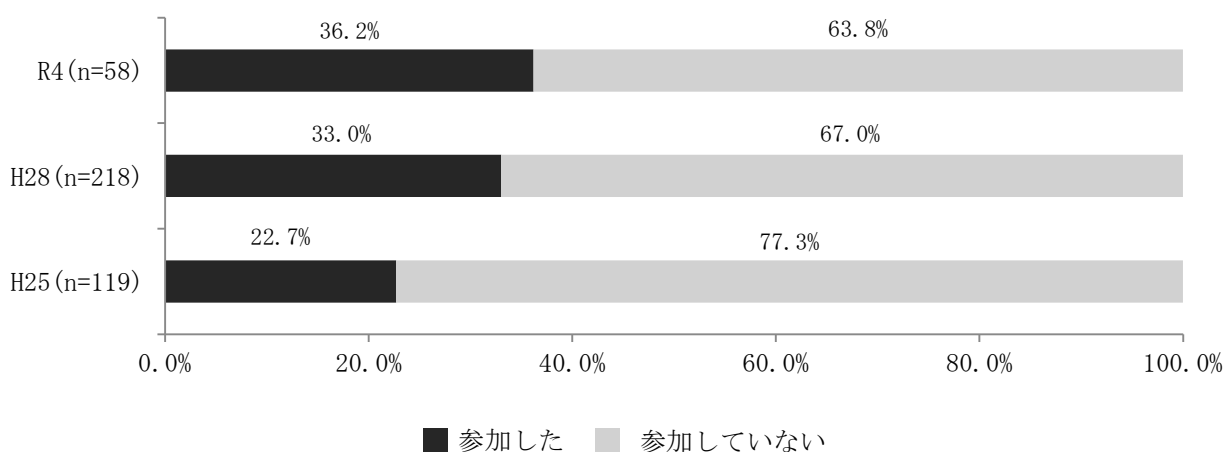
あった 48園

なかった 3園

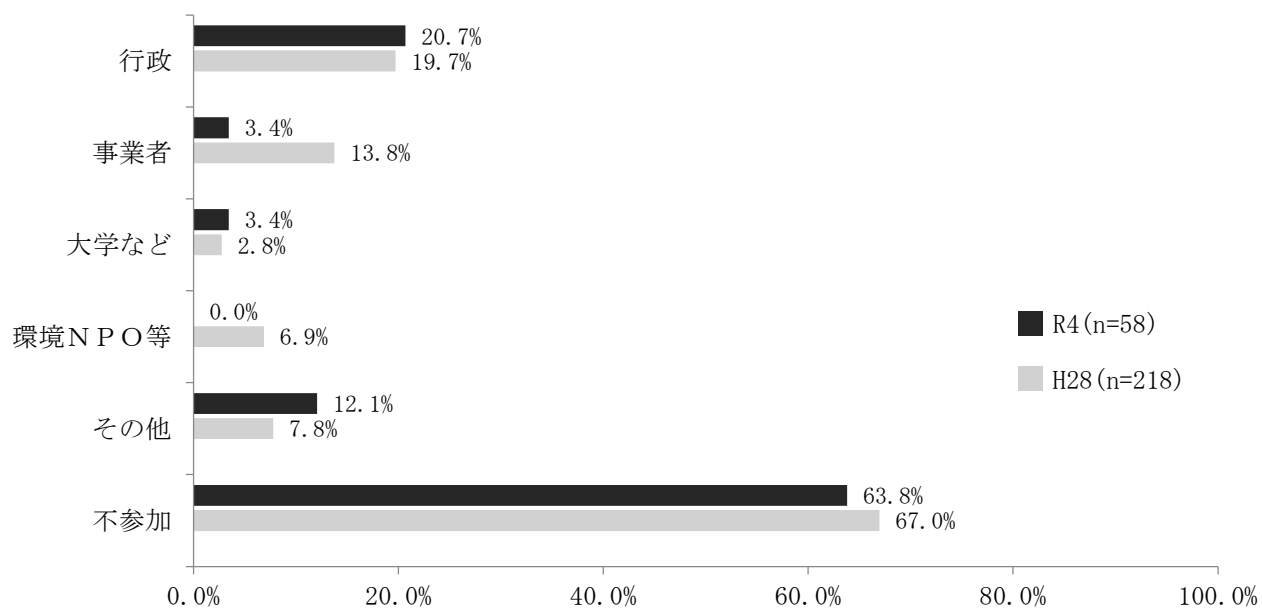
〈あった〉(抜粋)

- ・昆虫に興味を持つ、花が咲く、紅葉など自然の変化に興味を持つ
- ・身近に触れた環境に生息する生きものに興味を持つようになった。また、生態系に対する造詣を深める幼児が増えた。
- ・虫を触ることができるようになった。季節の移り変わりを知ることができた。食物を育て苦手な野菜でも食べられるようになった。
- ・意欲的に図鑑で調べたり、水かけをして成長を楽しむ姿が見られるようになった。且つ、優しい気持ちが、芽生えた。
- ・植物の生長や生物の変化に気付くことが増えた。また、毎年繰り返し同じ体験や題材を扱うことで、経験が積み重なっていき、過去と比べて気付いたことや分かったことを話すようになった。

問3 教職員が環境教育や自然体験に関する研修に参加しましたか。【〇は複数可】



【参加した研修の実施者】



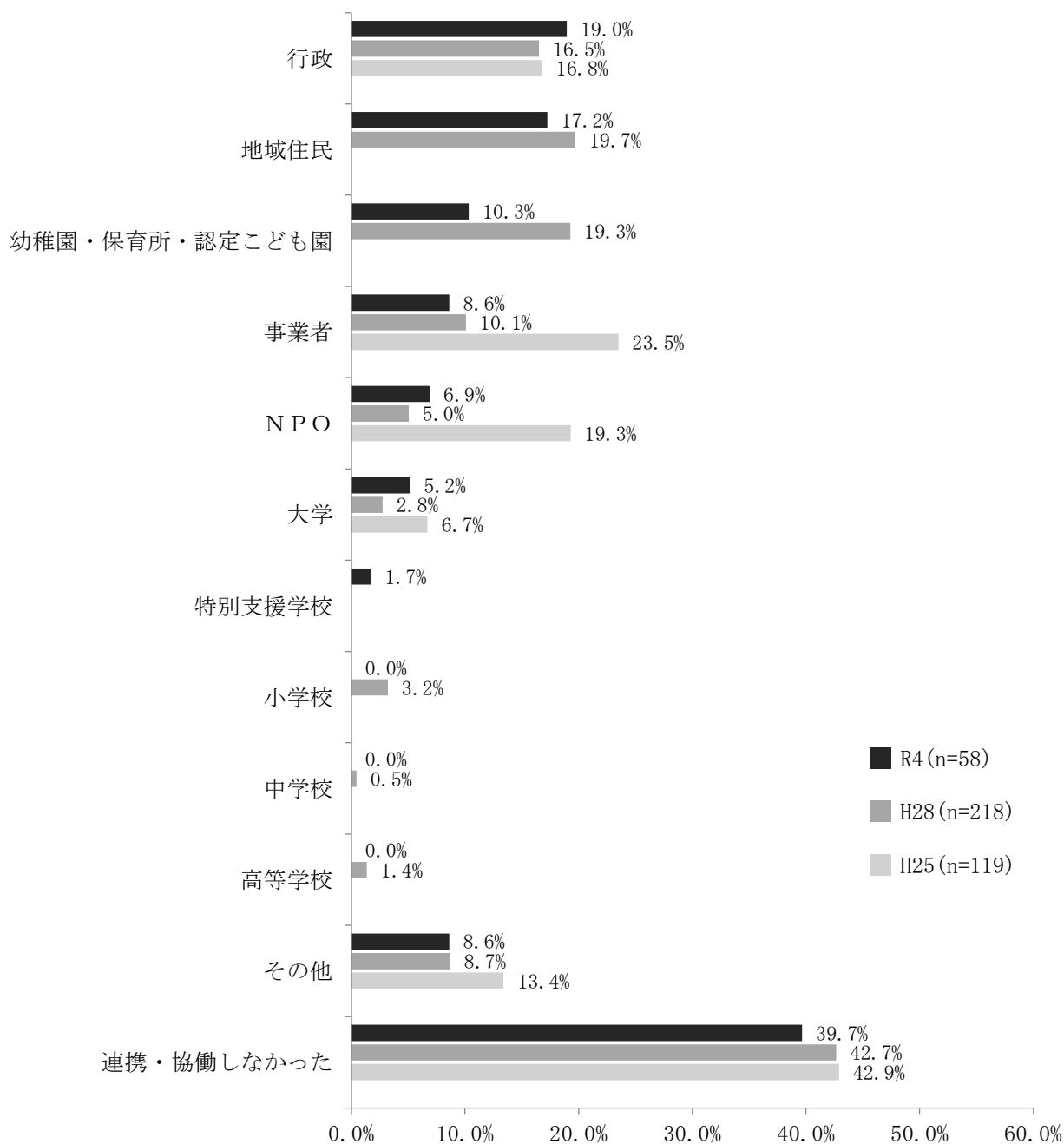
〈その他〉（抜粋）

- ・私立幼稚園連盟
- ・市の幼稚園連盟
- ・系列の幼稚園での研修

〈不参加の理由〉（抜粋）

- ・時間の余裕がない
- ・都合がつかなかった為
- ・必要性を感じなかった
- ・魅力的な環境教育や自然体験の研修が見つからなかった
- ・自園の活動で十分

問4 環境教育や自然体験を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。【〇は複数可】



〈その他〉（抜粋）

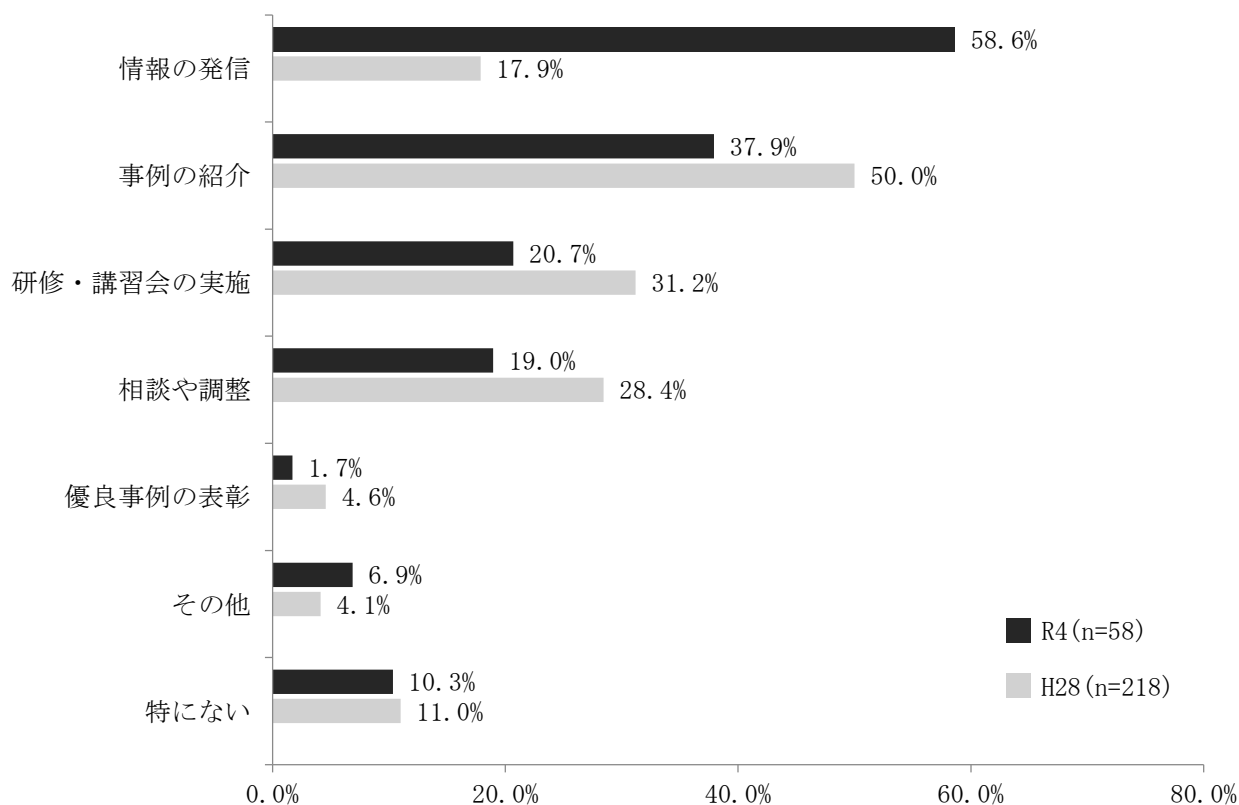
- ・ 知り合いの畑の方
- ・ 郵便局

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・ 連携できる機関を見つけることができなかったため
- ・ 園内で普段から行っていることで環境教育や自然体験は十分と思います
- ・ 園単独で実施

問5 他の主体と連携・協働することで、より効果的で実感を伴った自然体験・環境教育の実施につながることを期待されます。

こうした取組を推進していくうえで、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は2つ】



<その他> (抜粋)

- ・連携・協働して自然体験・環境教育を行う為の会場の設置・提供
- ・園庭の環境改善に伴う補助費の増額

問6 貴園が実施している環境教育、自然体験、環境保全活動（ごみの分別、グリーンカーテン等）などで、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

19事例

Ⅲ 学校

県内各学校（国立・名古屋市立を除く）

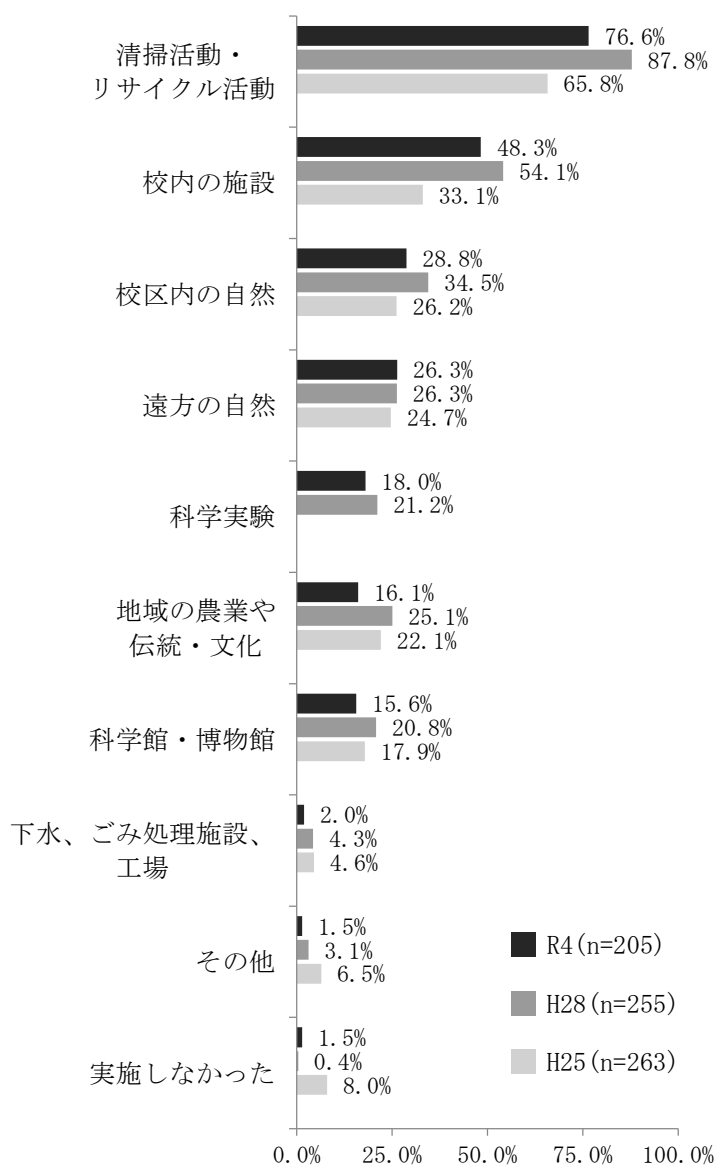
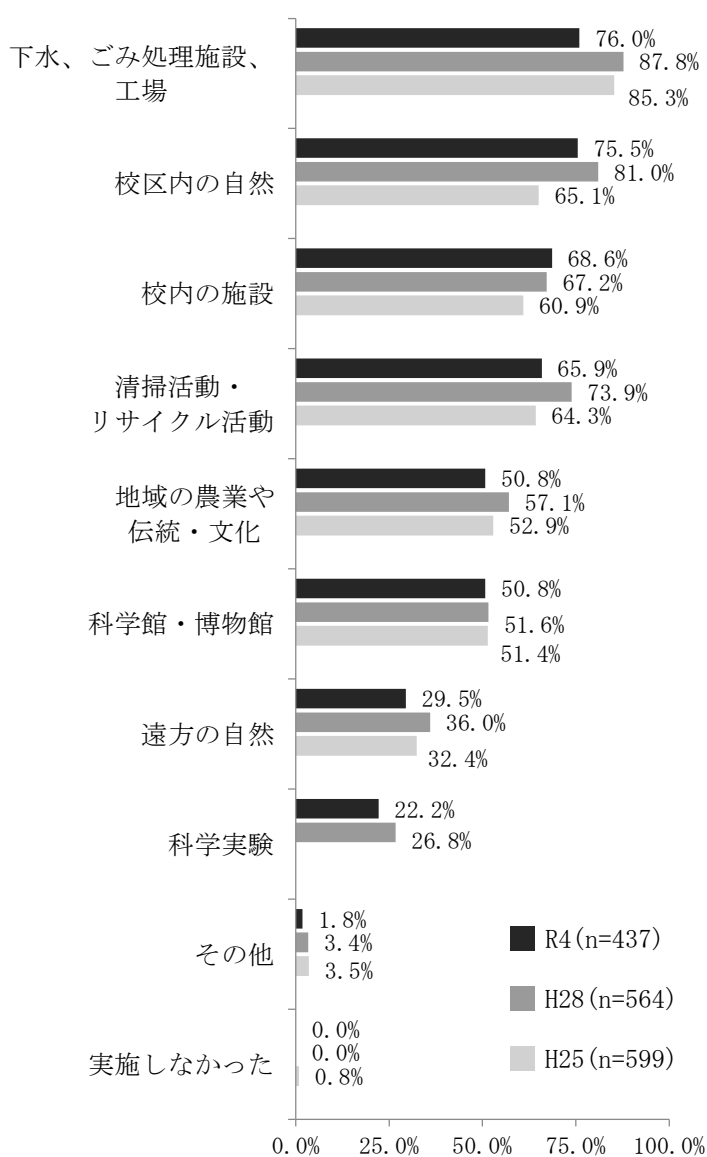
小	2022 (R4) : 437/704 校 (62.1%)	2016 (H28) : (78.7%)	2013 (H25) : (83.8%)
中	2022 (R4) : 205/324 校 (63.3%)	2016 (H28) : (77.3%)	2013 (H25) : (75.4%)

問1 環境教育は、地域の自然や社会を素材として活用し、人と環境の関わりを親しみと実感を伴って学ぶことが大切です。

貴校は、どのような実体験を取り入れた環境教育を実施していますか。【○は複数可】

【小学校】

【中学校】



〈その他〉（抜粋）

- ・環境学習にとりくむ企業の協力
- ・野鳥観察、緑の少年団の活動

〈その他〉（抜粋）

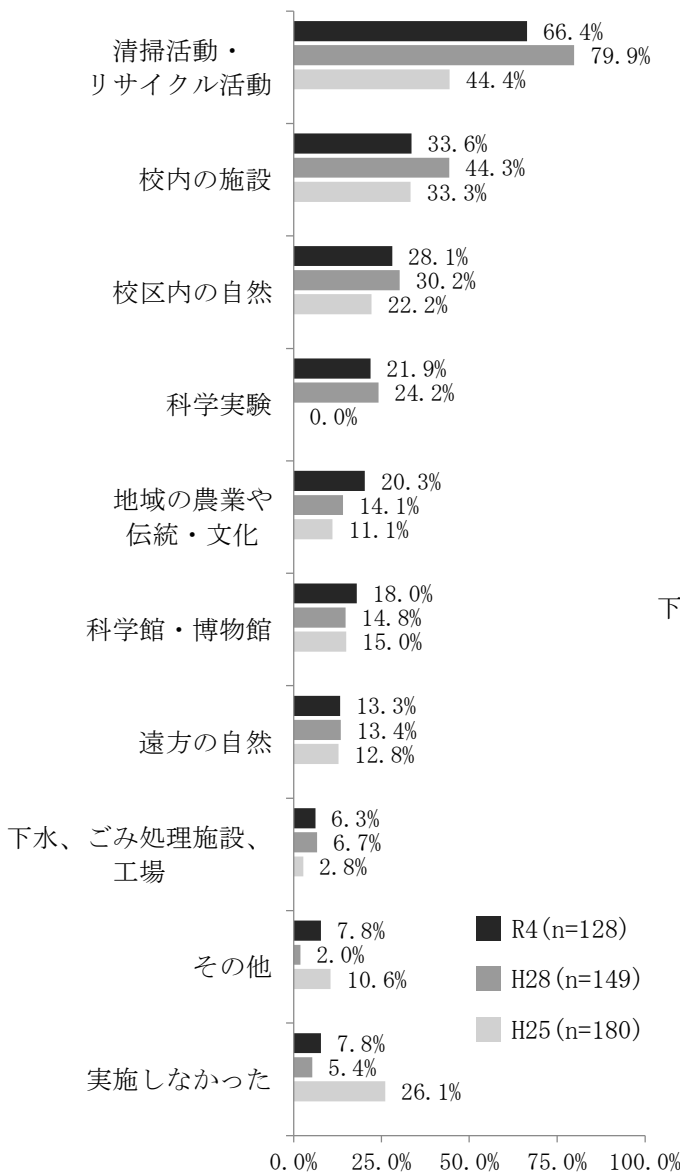
- ・ゲンジボタルの保護活動
- ・菜の花プロジェクト

県内各学校（国立・名古屋市立を除く）

高 2022 (R4) : 128/206 校 (62.1%) 2016 (H28) : (72.3%) 2013 (H25) : (87.8%)

特支 2022 (R4) : 30/36 校 (83.3%) 2016 (H28) : (87.9%) 2013 (H25) : (89.7%)

【高等学校】



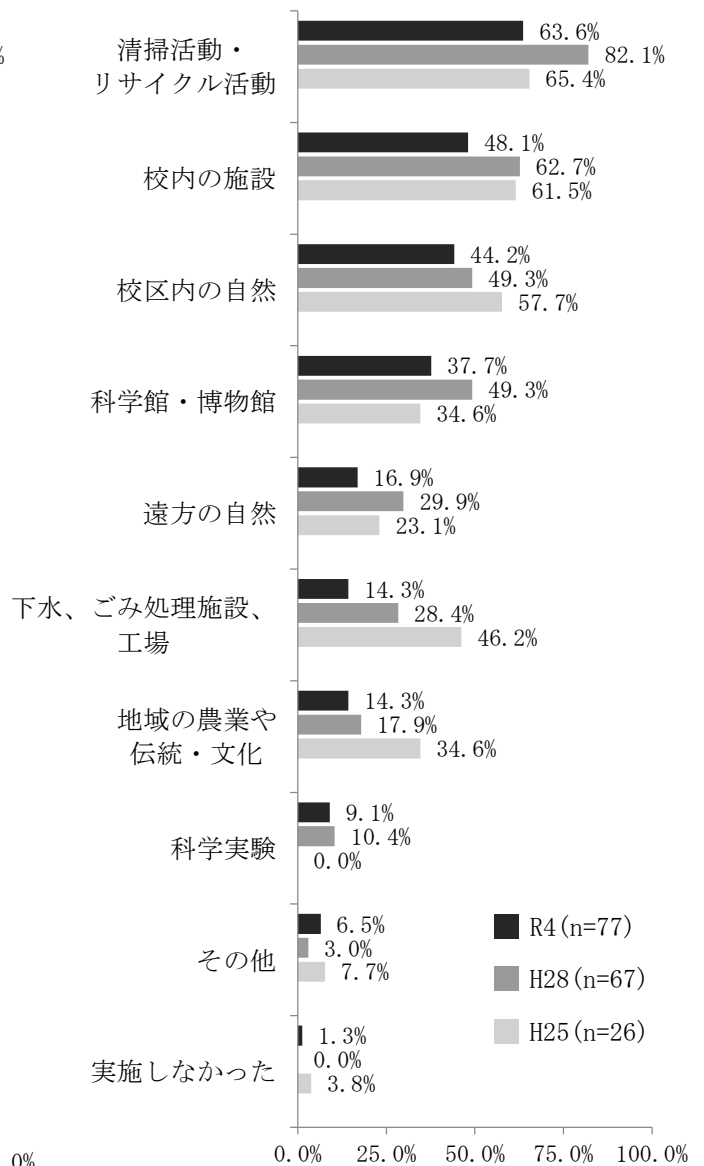
〈その他〉（抜粋）

- ・SDGS を推進する企業との連携
- ・都市型養蜂

〈実施しなかった理由〉（抜粋）

- ・他にやりたいことがあり、時間がないから

【特別支援学校】



〈その他〉（抜粋）

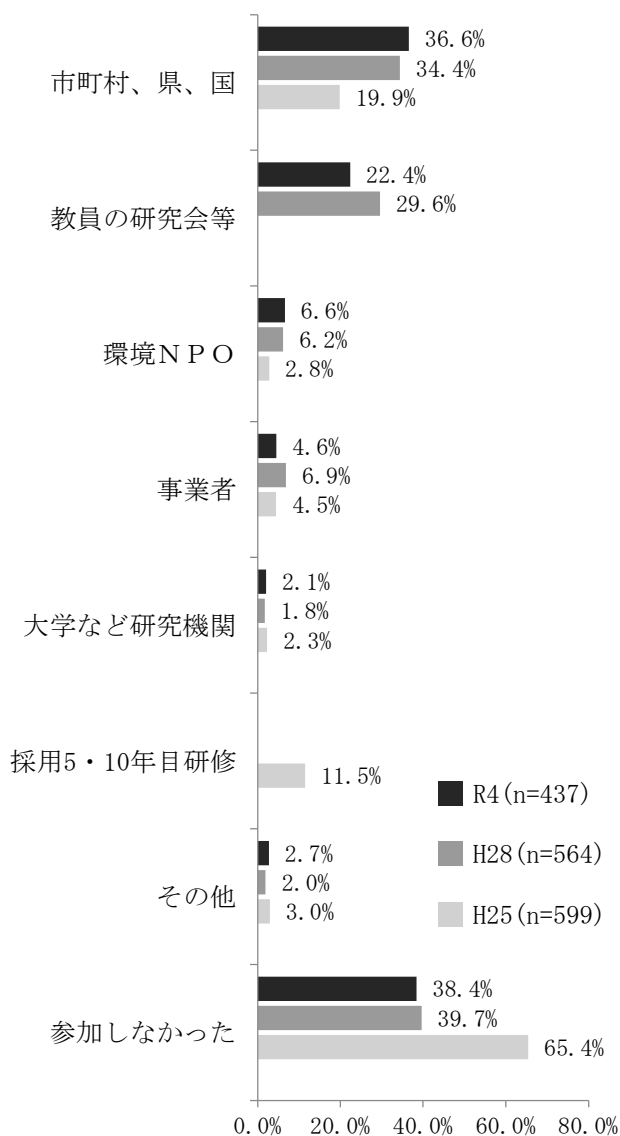
- ・竹害から山を守るために竹を使った製品作り、間伐材を使った製品作り

問2 環境教育をより推進するために、環境教育に関する教員向けの研修等が様々な場面で実施されることが期待されています。

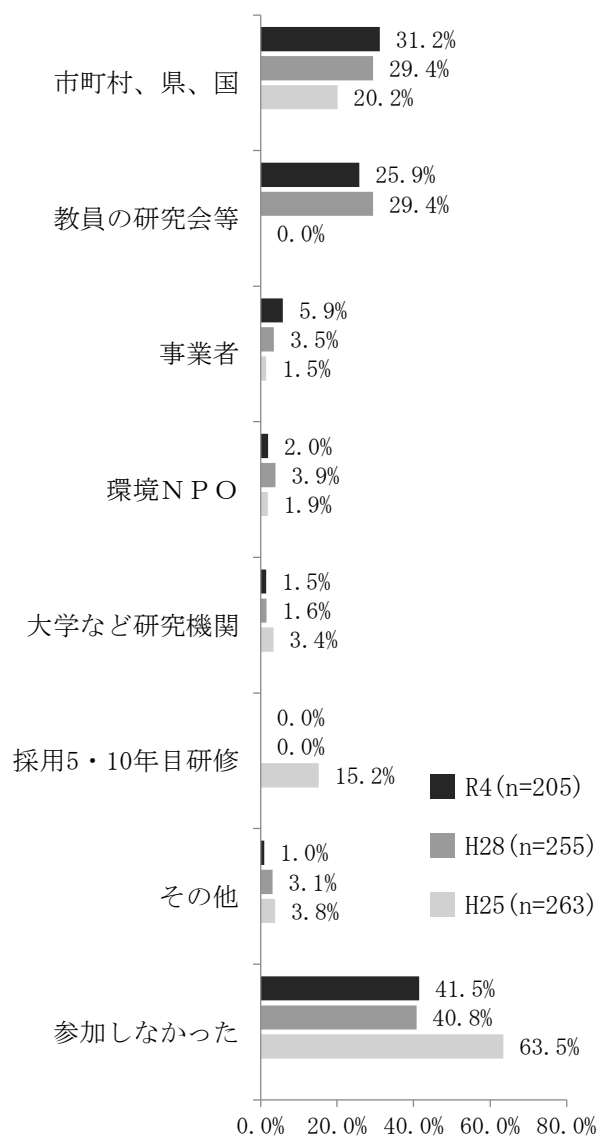
貴校の教職員は、どのような環境教育に関する研修等に参加しましたか。

【〇は複数可】

【小学校】



【中学校】



〈その他〉（抜粋）

- ・地域の方が行う環境教育の会に参加
- ・校内職員による現職研修

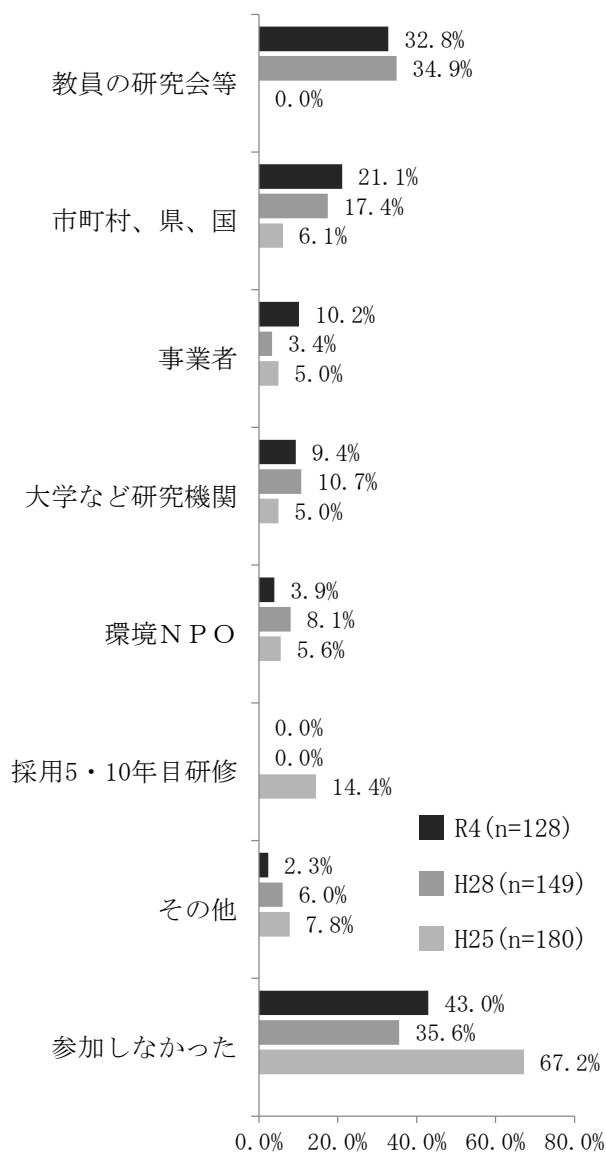
〈参加しなかった理由〉（抜粋）

- ・研修会に参加できる余裕がなかった
- ・他分野の研修へ参加したため
- ・環境教育について、周知がなされていなかったから

〈参加しなかった理由〉（抜粋）

- ・時間的な余裕がない
- ・どのような研修があるか、知らなかったため
- ・必要があるとは感じなかった

【高等学校】



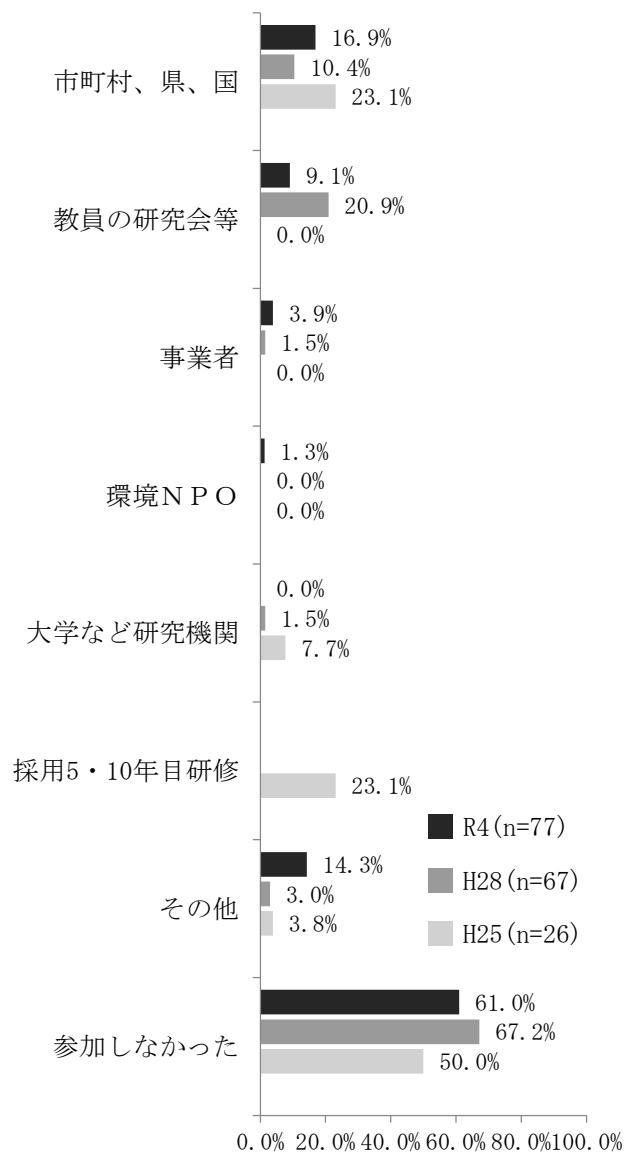
<その他> (抜粋)

- ・JICA 主催の研修

<参加しなかった理由> (抜粋)

- ・希望者がいなかった
- ・多忙のため
- ・本校にとって適切なものがなかった

【特別支援学校】



<その他> (抜粋)

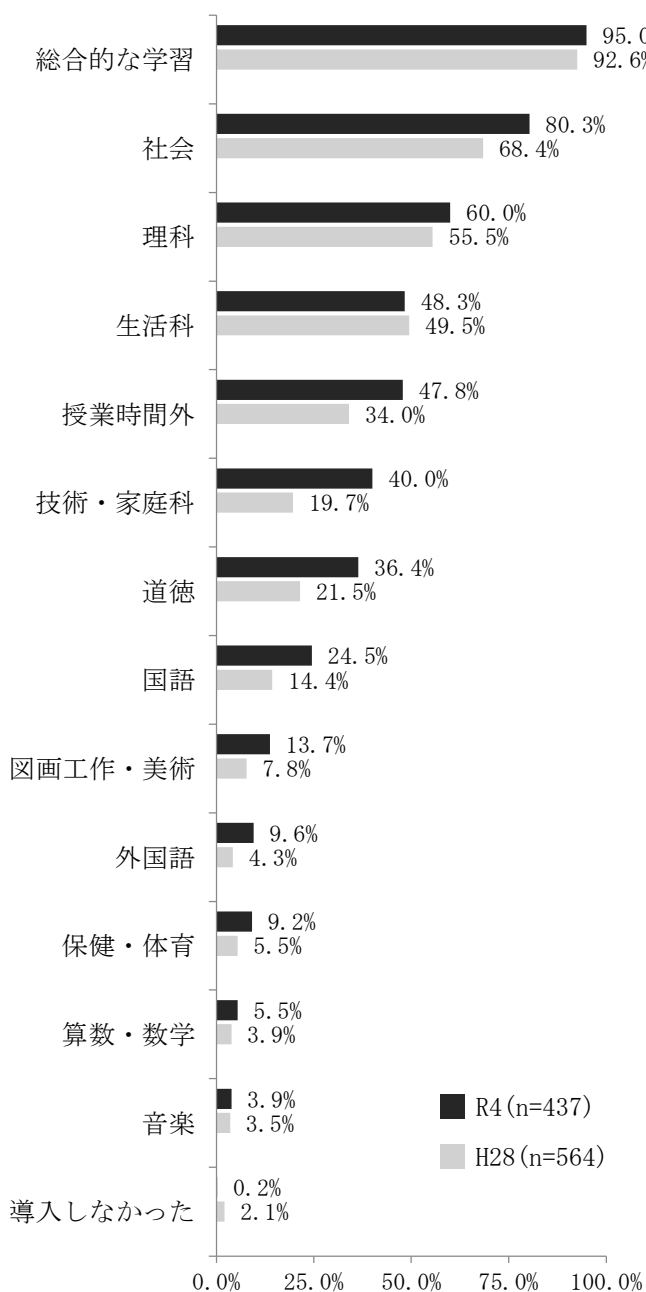
- ・eラーニング
- ・ユネスコスクール関係機関主催の研修

<参加しなかった理由> (抜粋)

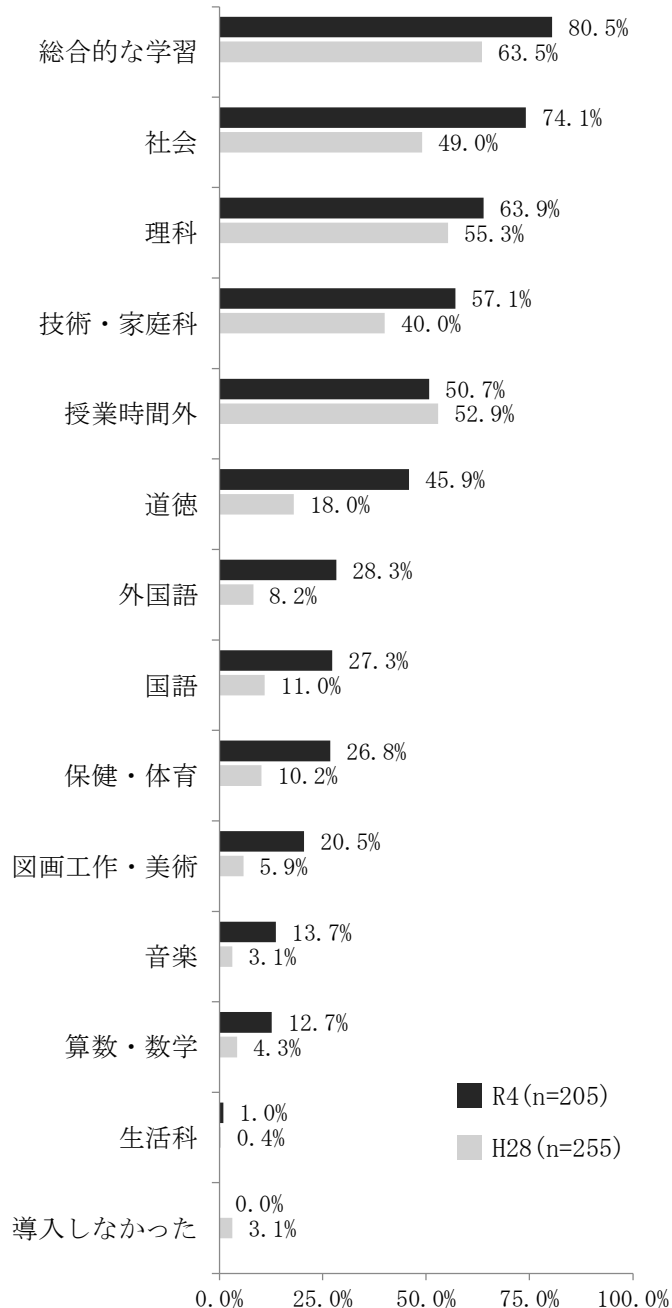
- ・研修の機会がなかった
- ・研修内容が本校児童生徒の実態に合わなかったため
- ・都合がつかなかったため

問3 SDGsの実現に向けて、「持続可能な社会の創り手」の育成が大切です。
 貴校においては、次のどの教科でSDGsの視点を導入していますか。
 【〇は複数可】

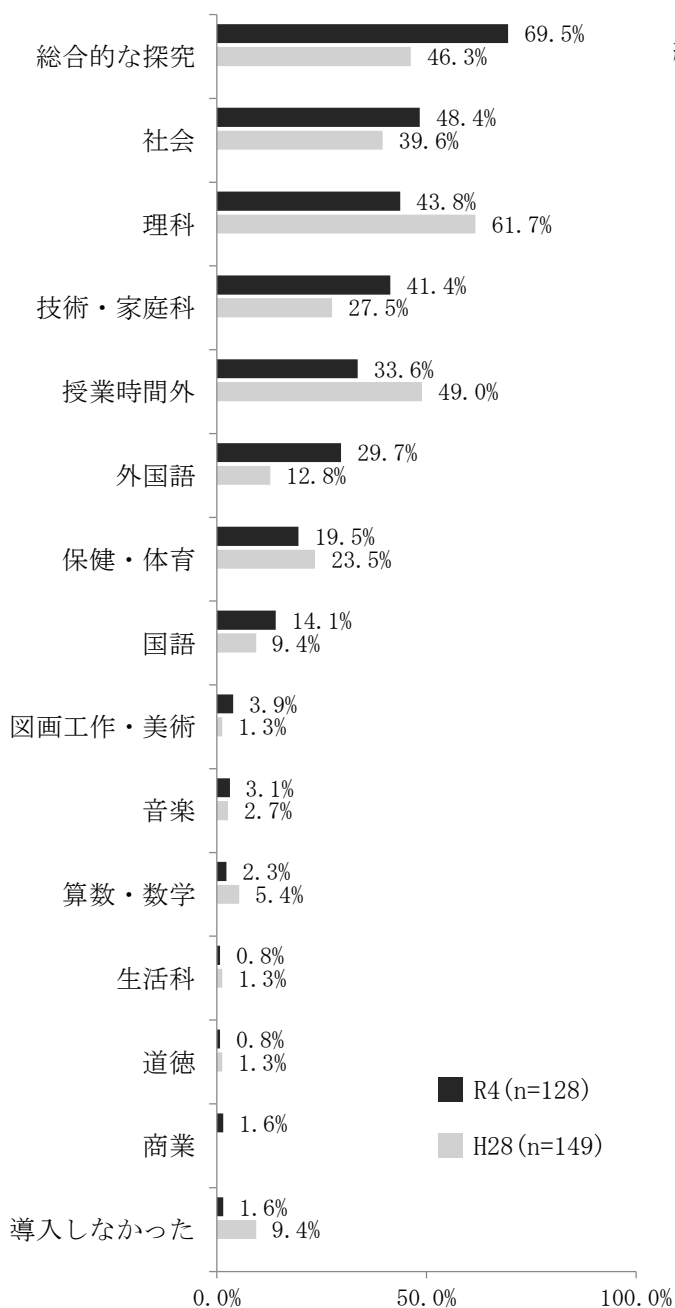
【小学校】



【中学校】



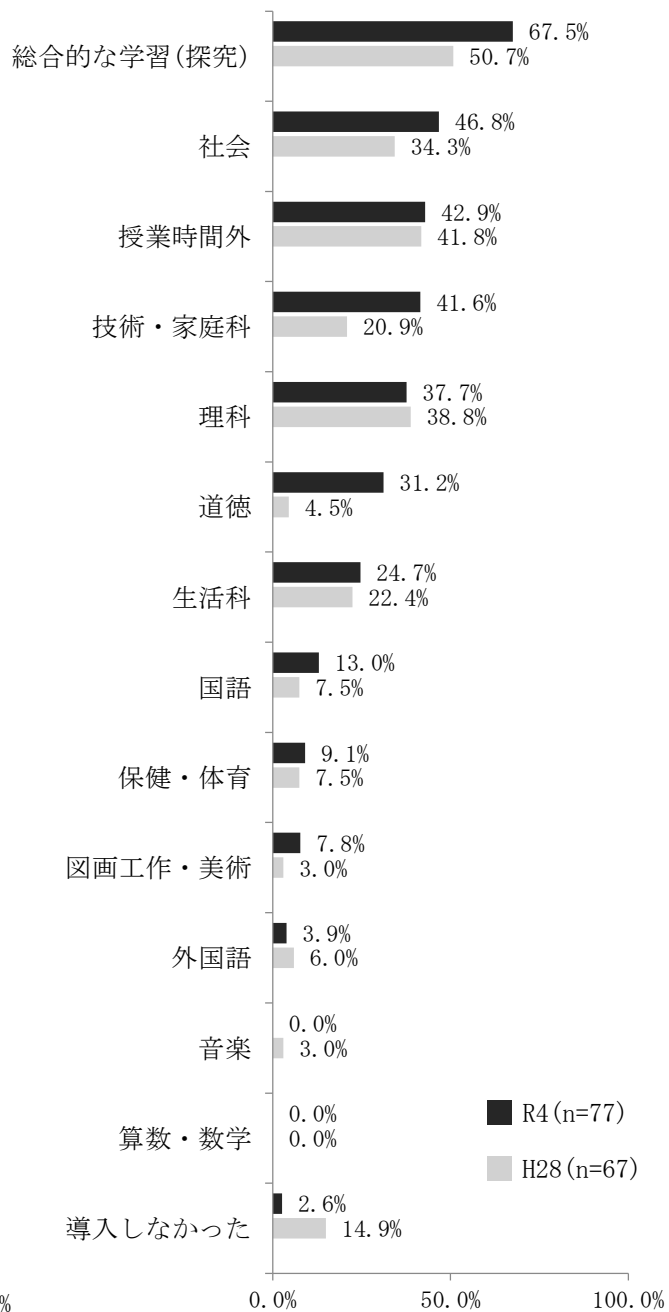
【高等学校】



〈導入しなかった理由〉（抜粋）

- ・環境教育を特に推進していないため

【特別支援学校】

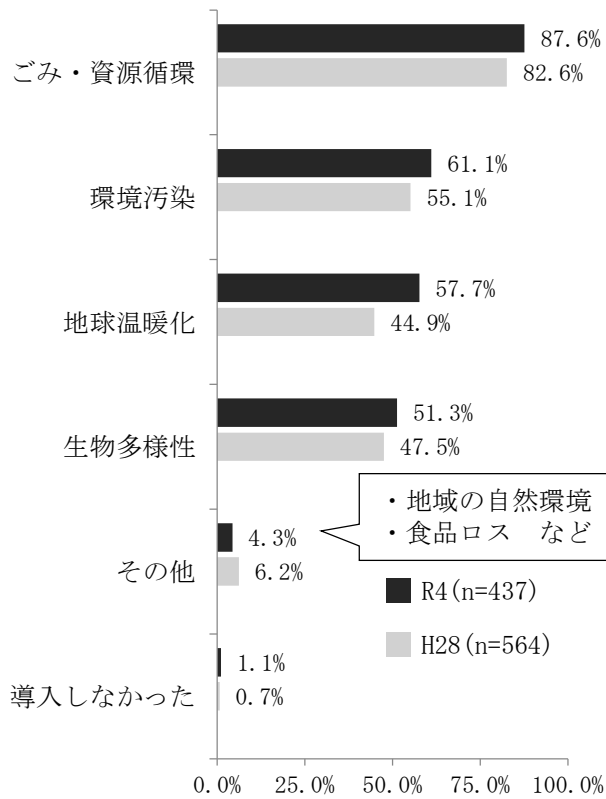


〈導入しなかった理由〉（抜粋）

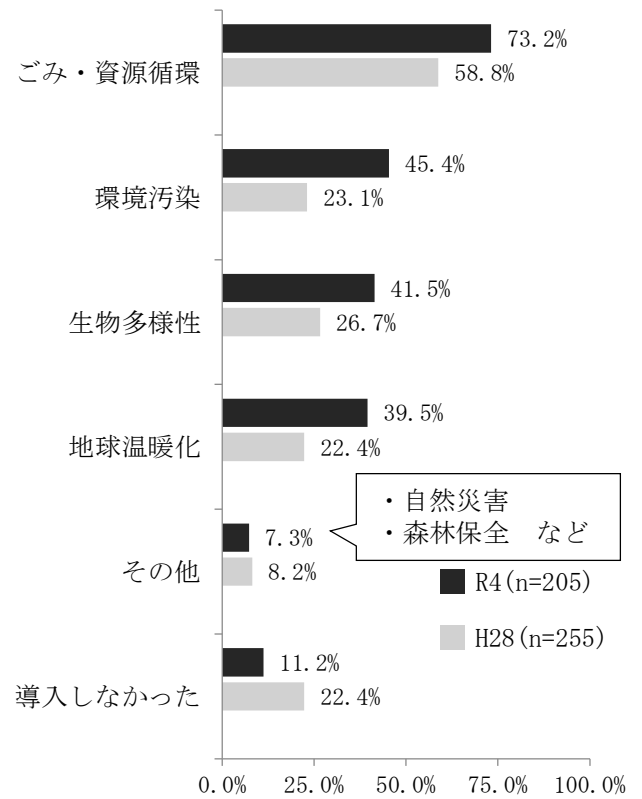
- ・SDGs に関する話し合いがまだ行われていない

問4 総合的な学習（探究）の時間等の授業において、どのような環境の視点を導入しましたか。【〇は複数可】

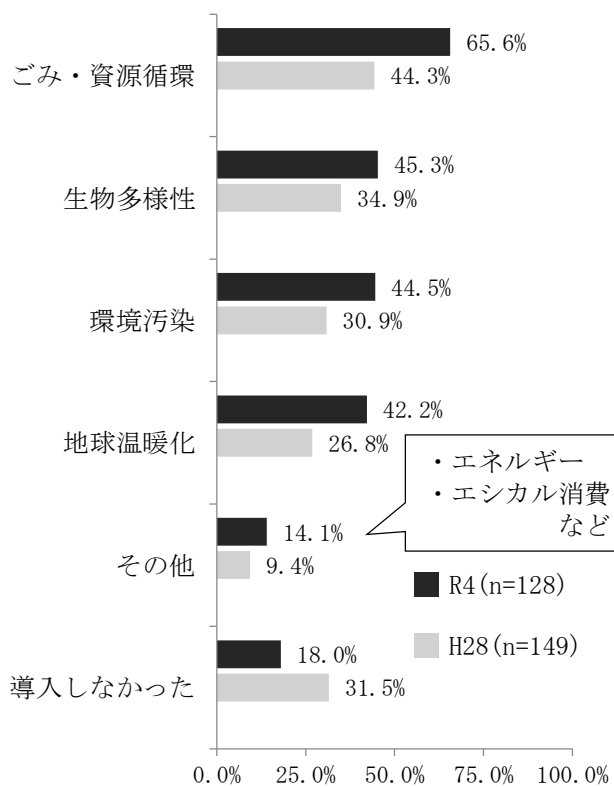
【小学校】



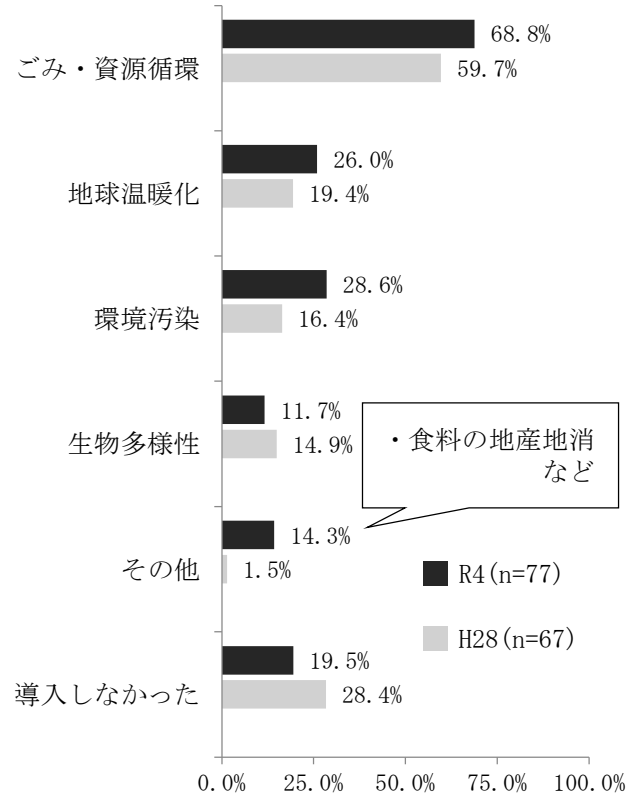
【中学校】



【高等学校】



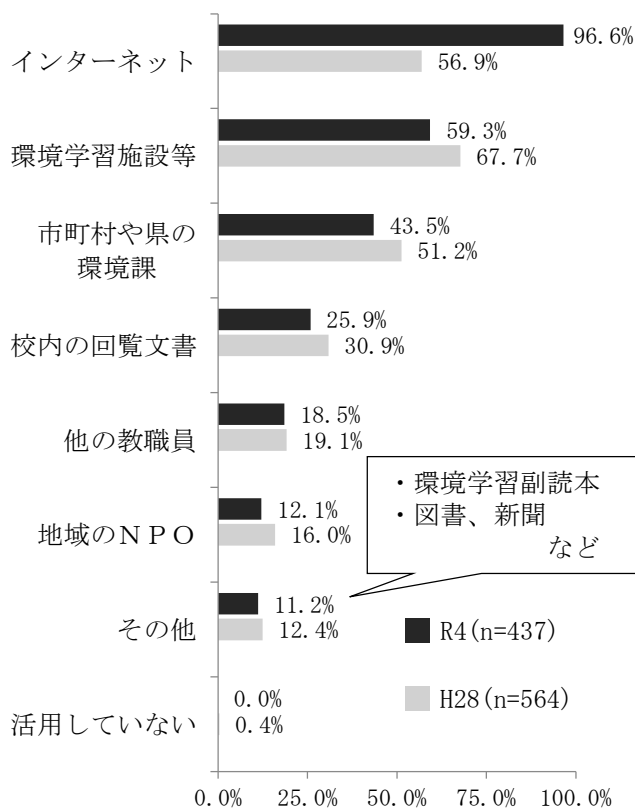
【特別支援学校】



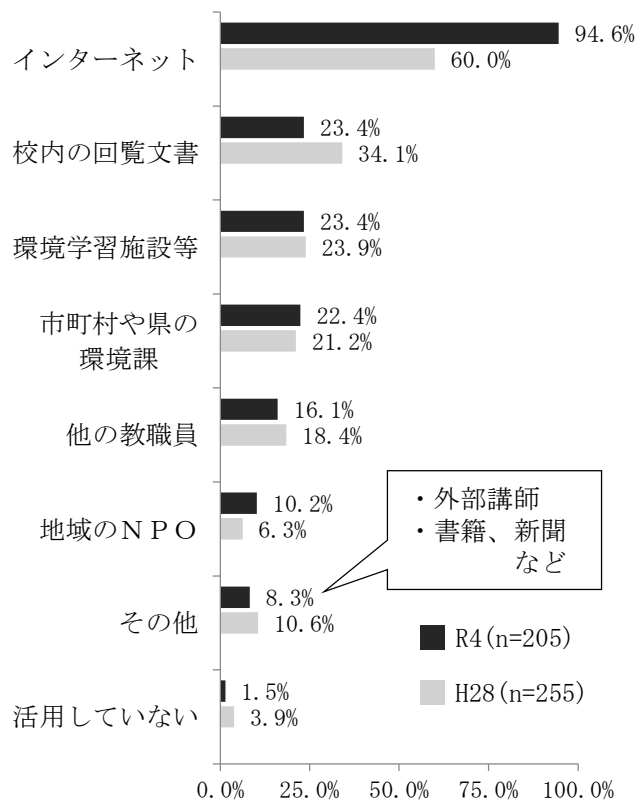
問5 環境教育に関する情報を収集する際、どのような情報源を活用しましたか。

【○は複数可】

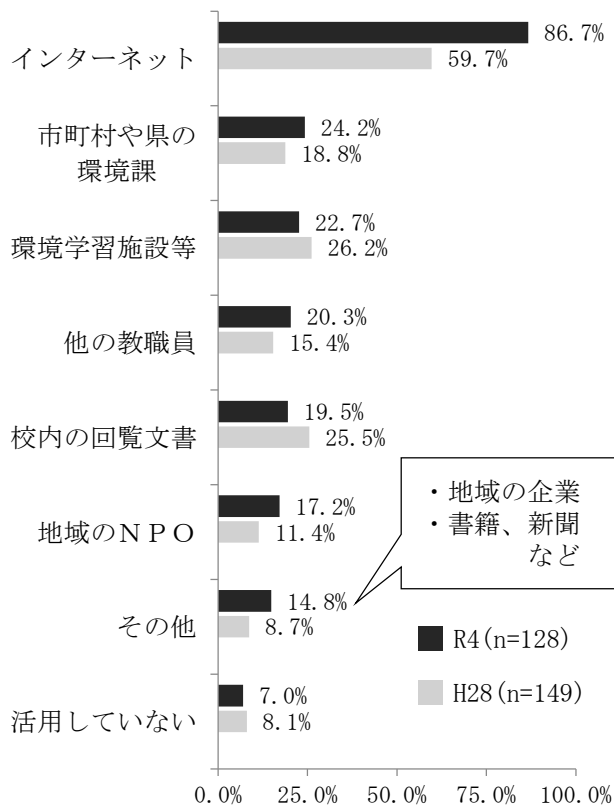
【小学校】



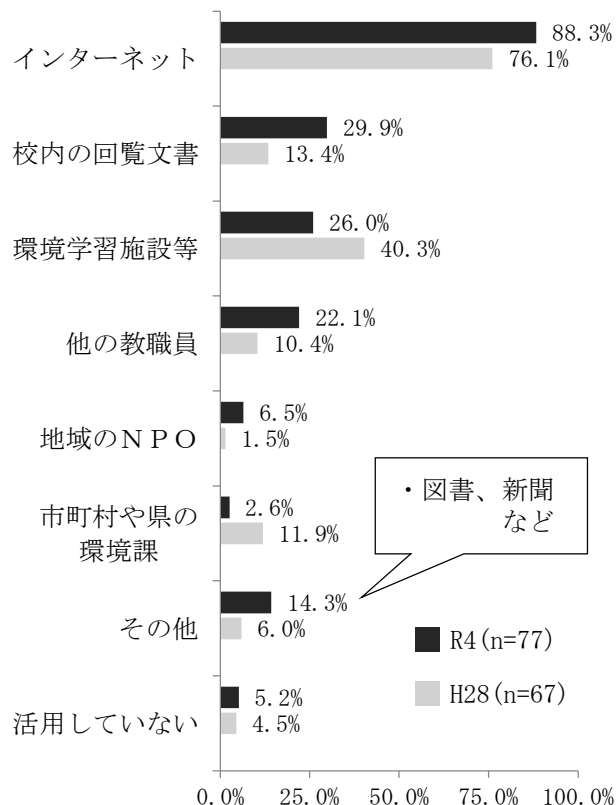
【中学校】



【高等学校】

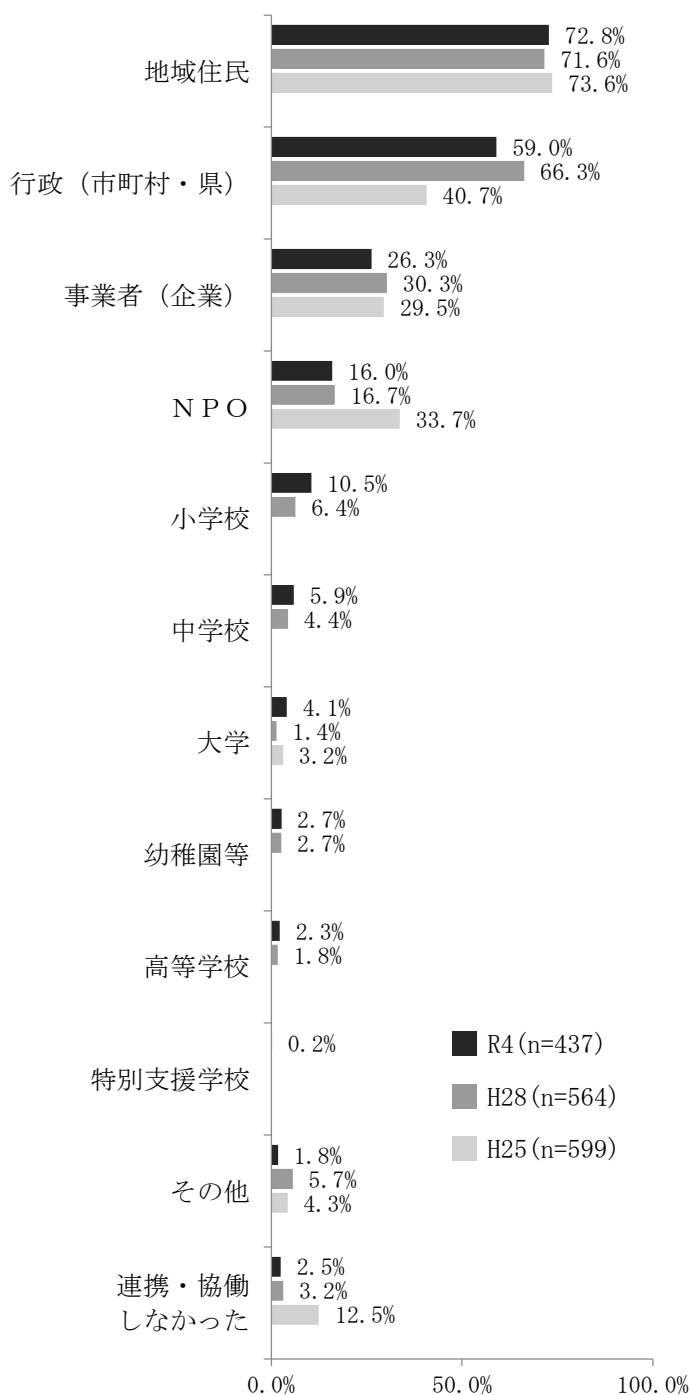


【特別支援学校】



問6 学習指導要領では「社会に開かれた教育課程の実現」が求められています。
 環境教育や環境保全活動を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。【○は複数可】

【小学校】



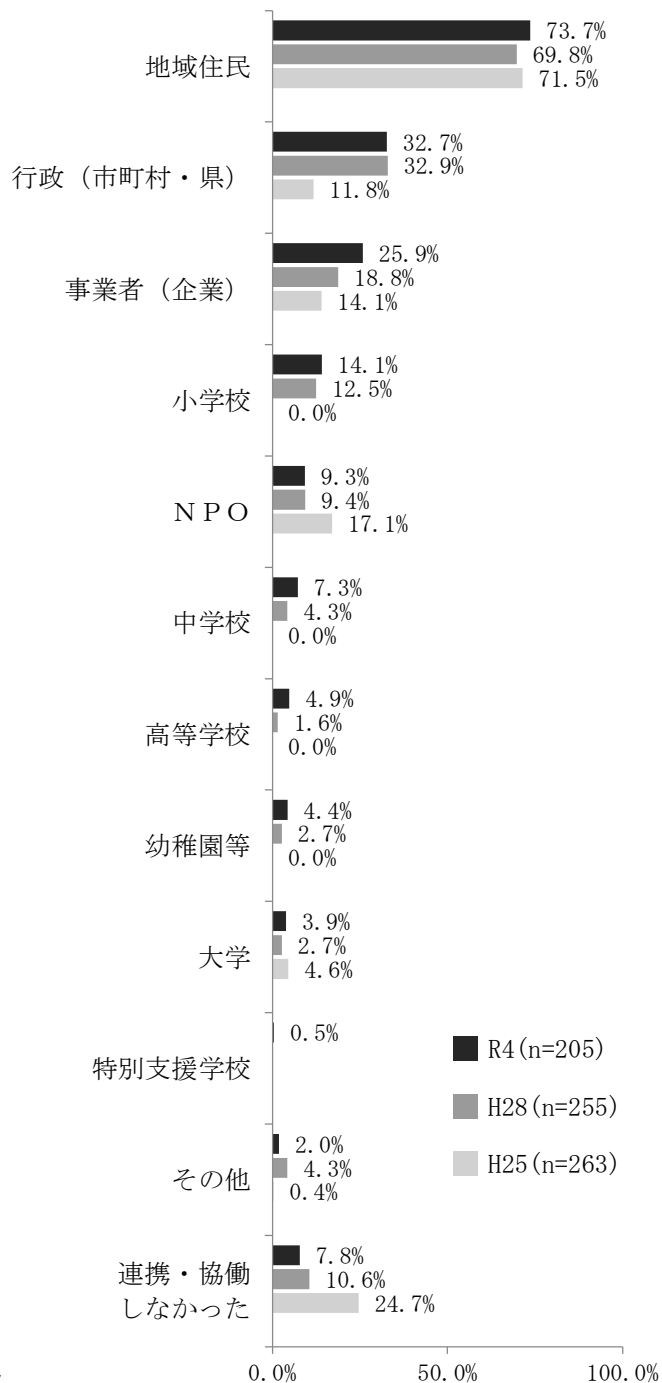
〈その他〉（抜粋）

- ・ロータリークラブ
- ・漁協

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・特に必要性を感じなかった

【中学校】



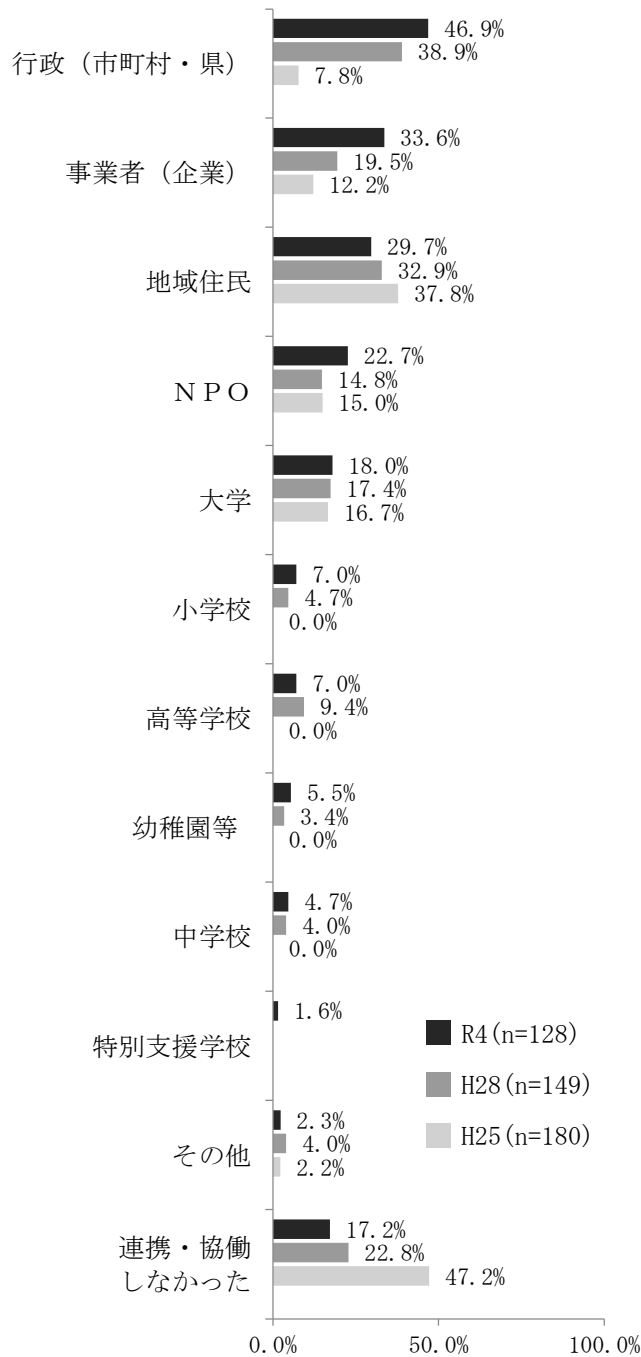
〈その他〉（抜粋）

- ・地域の林業クラブ
- ・科学館、動植物園等

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・必要ないと思ったから

【高等学校】



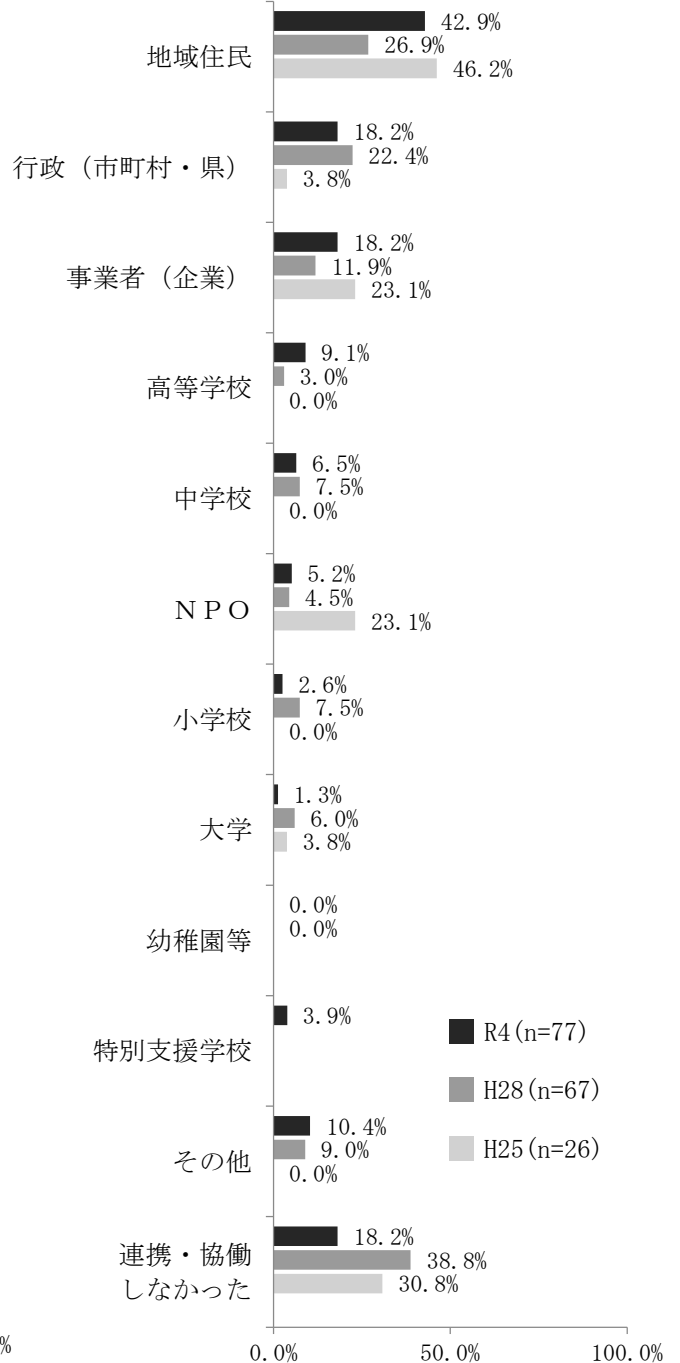
〈その他〉（抜粋）

- ・海外の機関

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・活動内容が必ずしも連携を必須とするものではないため

【特別支援学校】



〈その他〉（抜粋）

- ・地域の環境学習施設
- ・郵便局

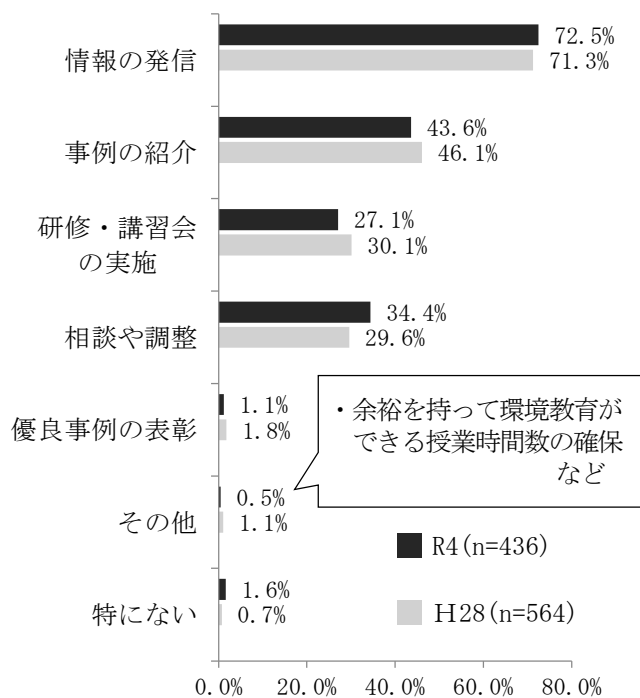
〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・機会がなかった

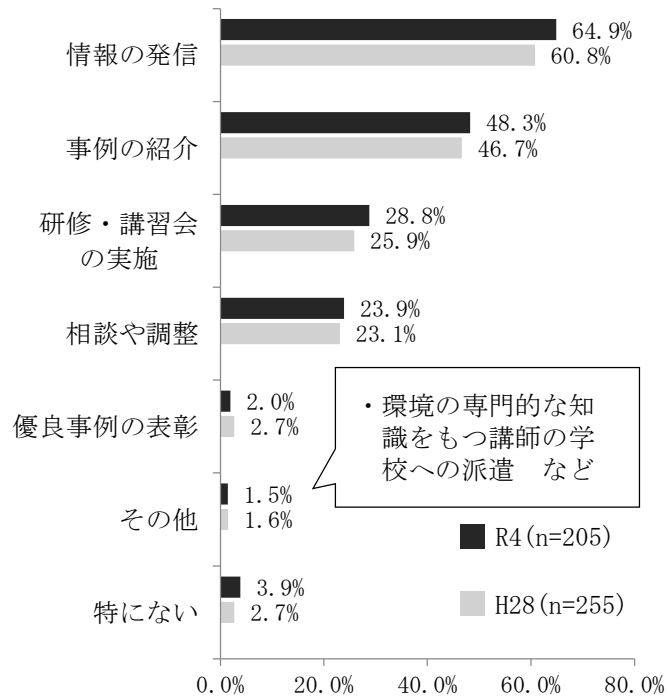
問7 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、他の主体と連携・協働することで、より効果的で実感を伴った環境教育の実施につながることを期待されます。

こうした取組を推進していくうえで、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は2つ】

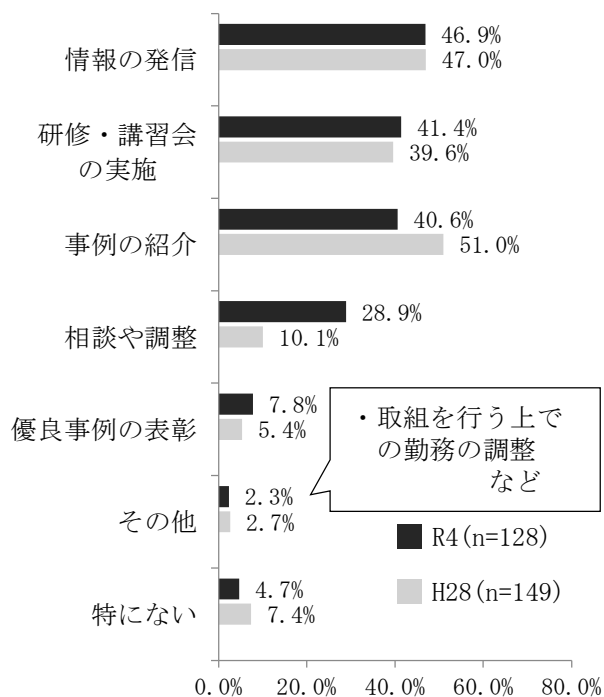
【小学校】



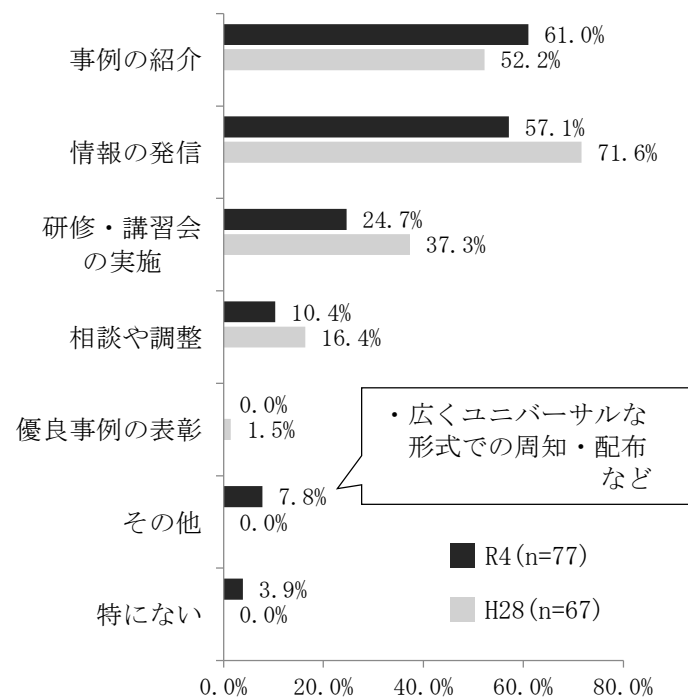
【中学校】



【高等学校】



【特別支援学校】



問8 貴校が実施している環境教育や環境保全活動で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

回答合計 145事例

小学校 72事例

中学校 35事例

高等学校 29事例

特別支援学校 9事例

IV 大学

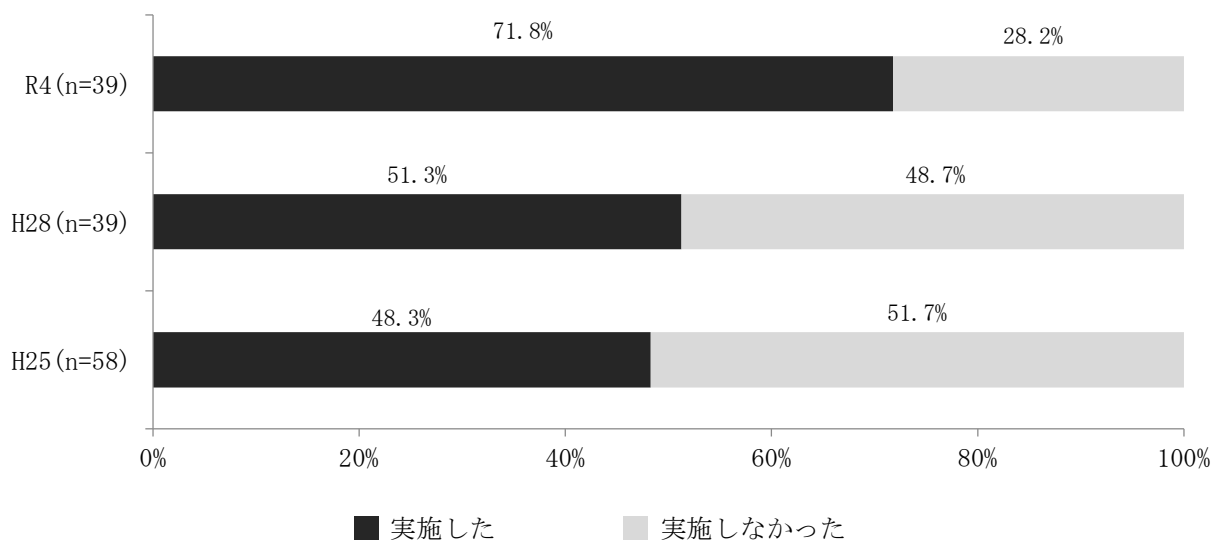
県内各大学（短期大学を含む）

2022 (R4) : 39/71 校 (54.9%)

2016 (H28) : 39/65 校 (60.0%)

2013 (H25) : 58/72 校 (80.6%)

問1 貴大学において、環境保全・環境教育やESDに関する研究や講座、イベント等を実施しましたか。



問2 別添様式に、環境に関する研究・講座・イベントを記入し、添付してください。

(1) 研究

貴大学で実施した環境に関する研究を御記入ください。

48事例

(2) 講座（非公開）

貴大学の学生を対象とした環境に関する講座を御記入ください。

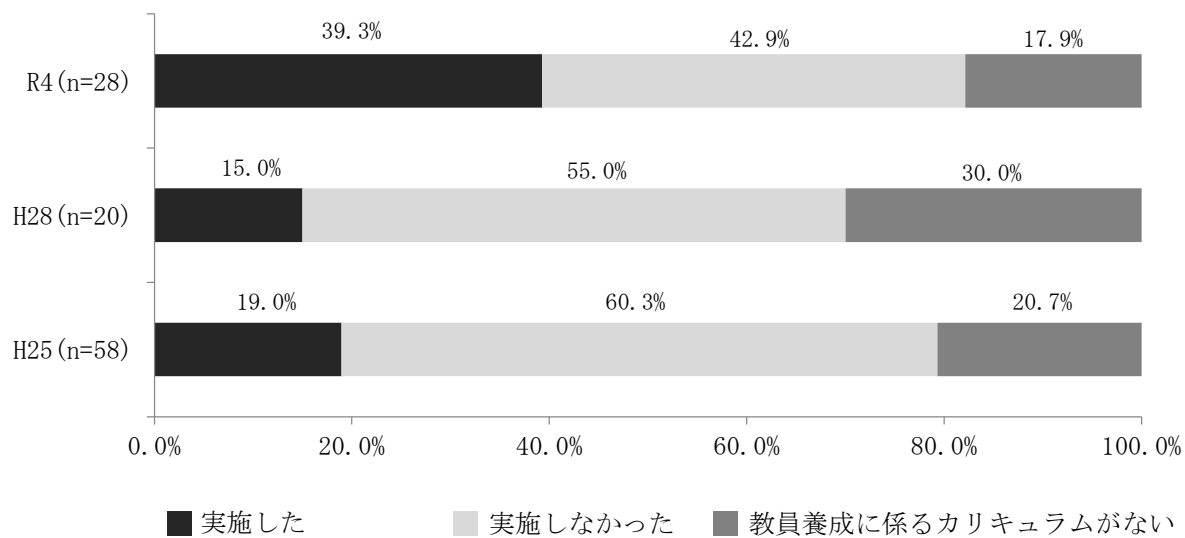
124事例

(3) 講座・イベント

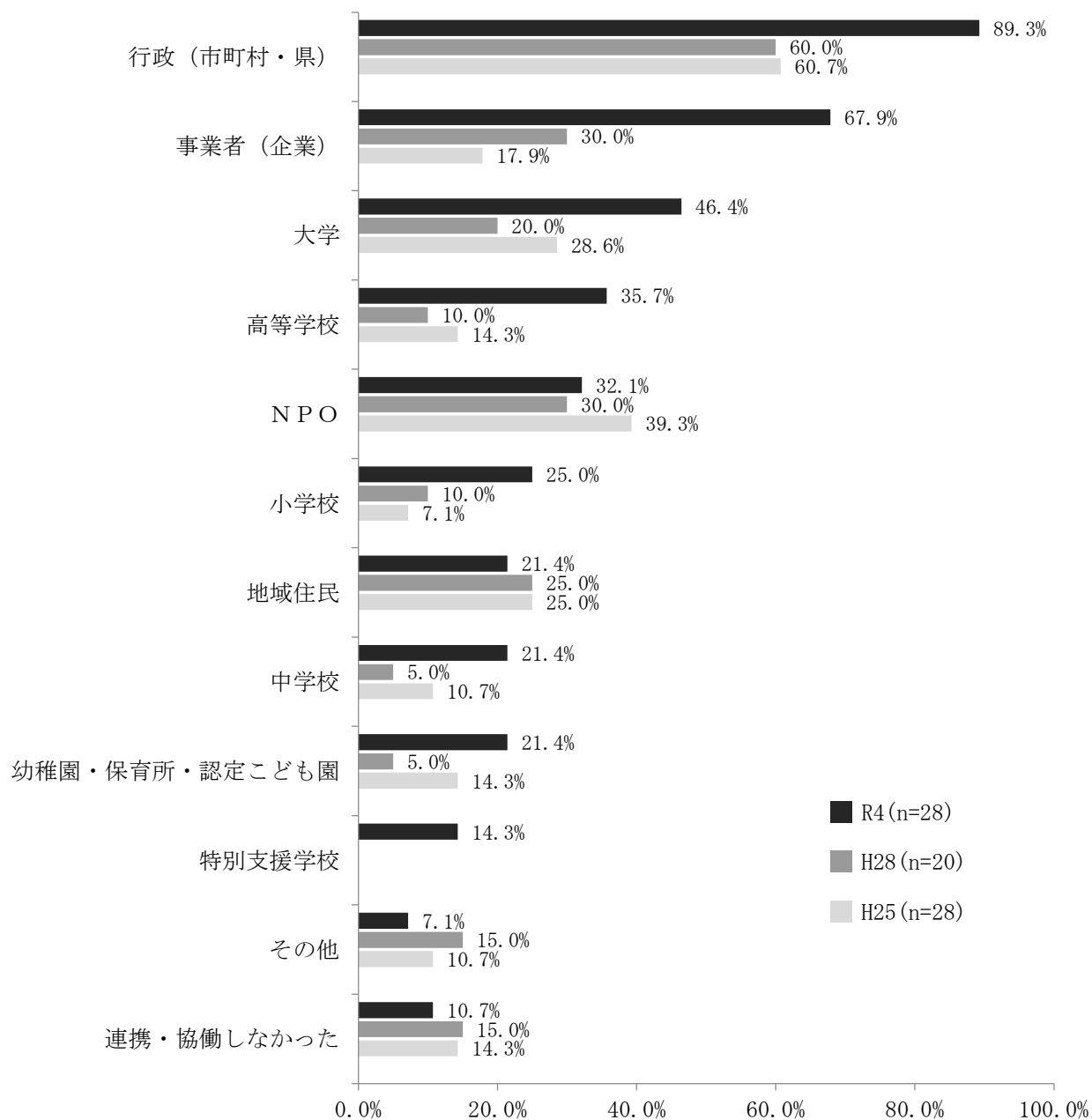
貴大学で実施した学外の方を対象とした環境に関する講座・イベントを御記入ください。

82事例

問3 貴大学における教員養成に係るカリキュラムにおいて、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施しましたか。



問4 大学での教育や研究の成果を地域に還元する際に、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。【〇は複数可】



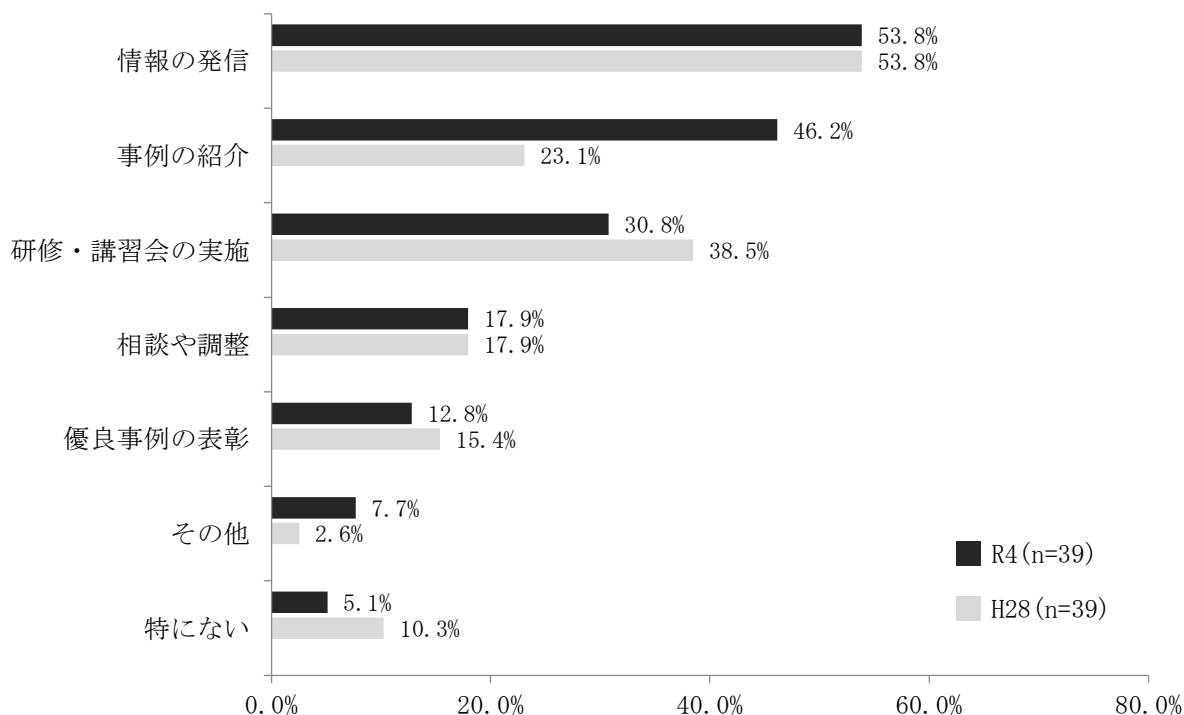
〈その他〉（抜粋）

- ・ 研究所
- ・ 地域薬剤師会

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・ 教養あるいは啓蒙的に位置づけられる正課科目であり、学外組織との連携のための整備が整っていなかったため

問5 環境教育を実施するうえで、大学は自身のノウハウや人材を地域、事業者、学校等で行われる環境教育に活用し、より発展的な学習にすることが期待されます。こうした取組を推進していくうえで、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は2つ】



<その他> (抜粋)

- ・取組に対しての助成
- ・環境に関する取組をしている大学や研究室と需要がありそうな地域との仲立ち

問6 貴大学が実施している環境教育や環境保全活動で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

1 3 事例

V 事業者

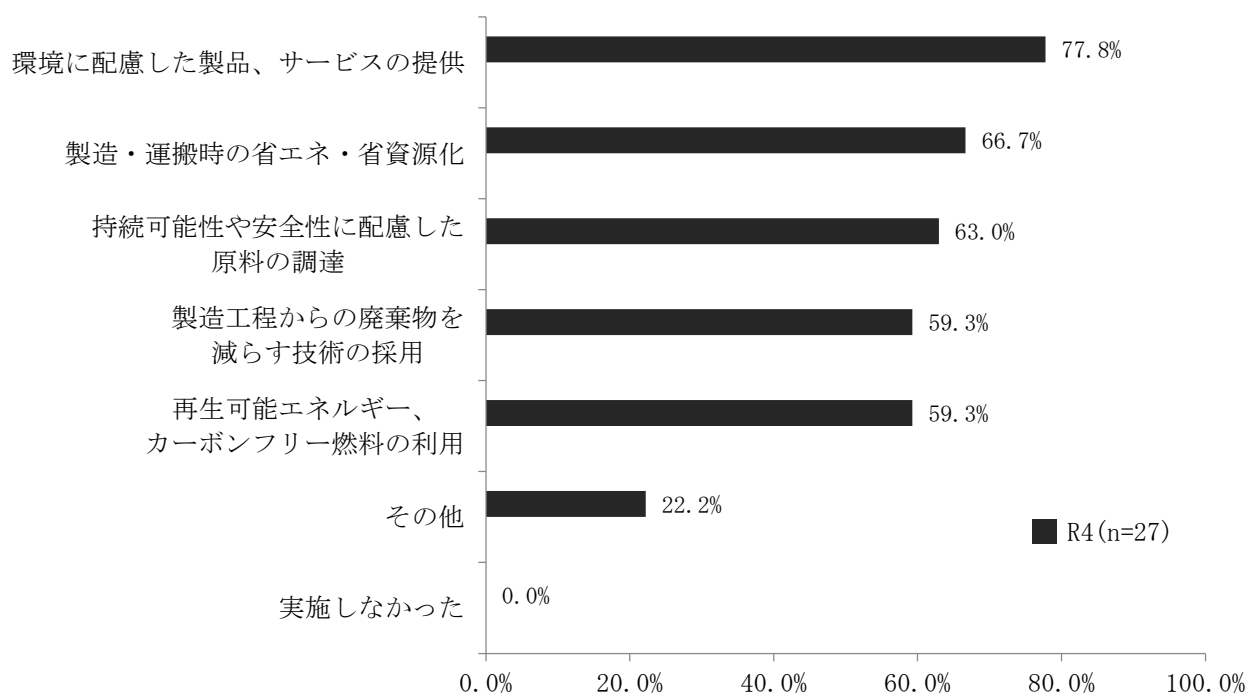
EPOC、名商エコクラブ

2022 (R4) : 27/427 者 (6.3%)

2016 (H28) : 69/415 者 (16.6%)

2013 (H25) : 64/386 者 (16.6%)

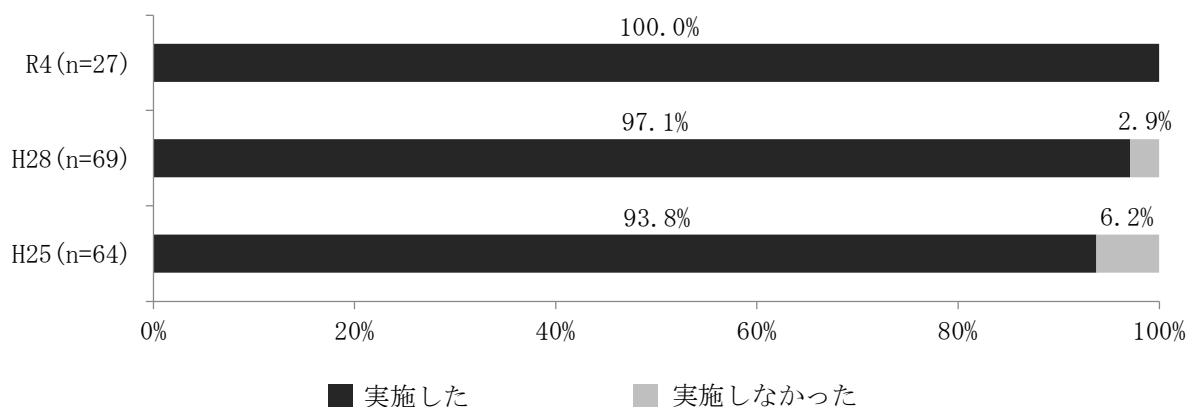
問1 本県では、SDGsに関する取組を推進するため、エコアクション21などのマネジメントシステムの導入を促進していますが、貴社では、事業活動においてどのような環境負荷の低減に関する取組を実施しましたか。【〇は複数可】



<その他> (抜粋)

- ・ペーパーレス化の推進
- ・クライアントへのSDGs取組推進につながる企画提案

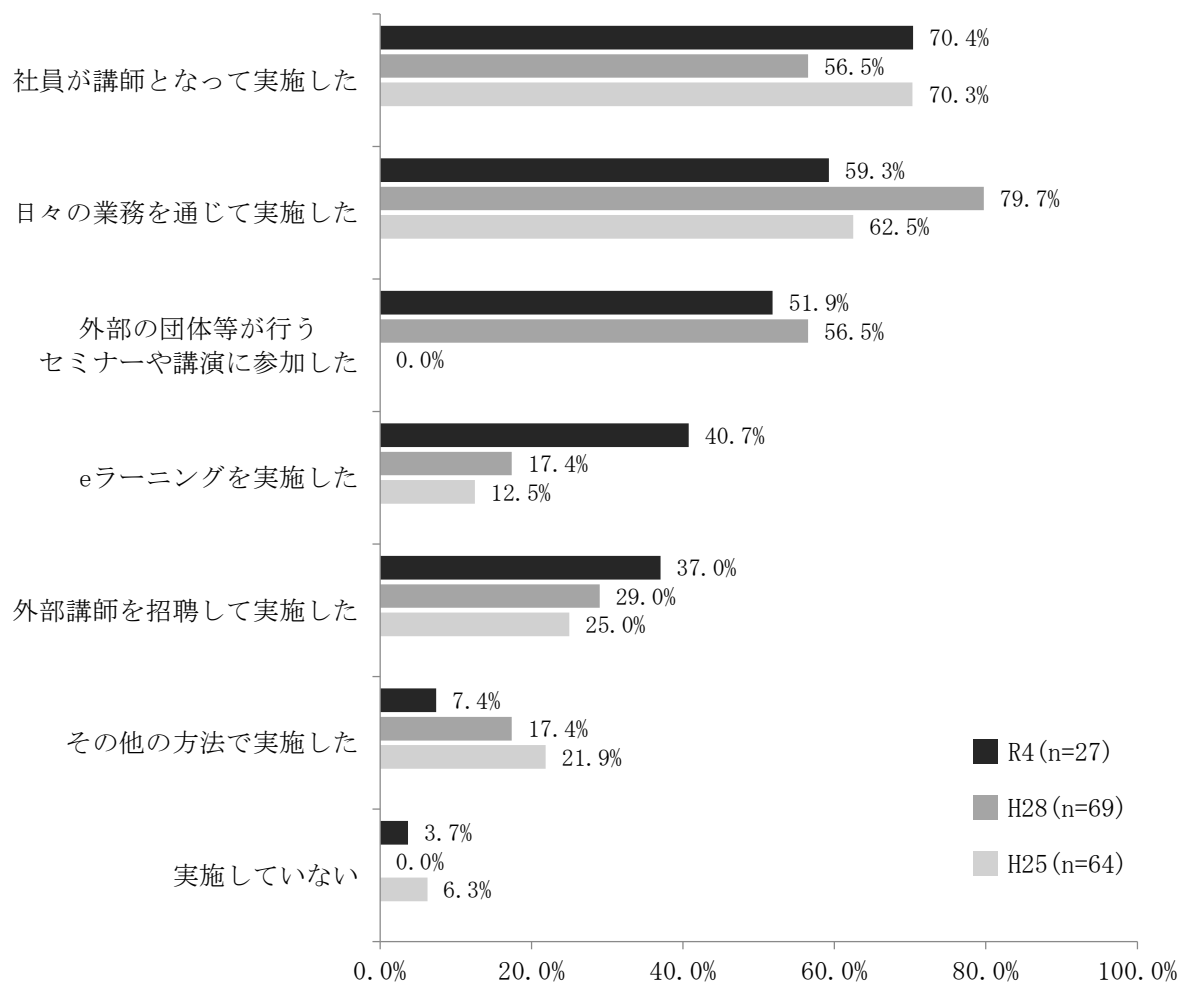
参考 過去との比較



問2 SDGsに関する取組を推進するために、環境と事業活動との関わりについて社員の意識を高めることが重要と考えられています。

貴社において、社員教育の中でどのように環境教育を実施しましたか。

なお、環境教育には、省エネや環境に配慮した製品づくりに関する教育も含まれます。【〇は複数可】



<その他> (抜粋)

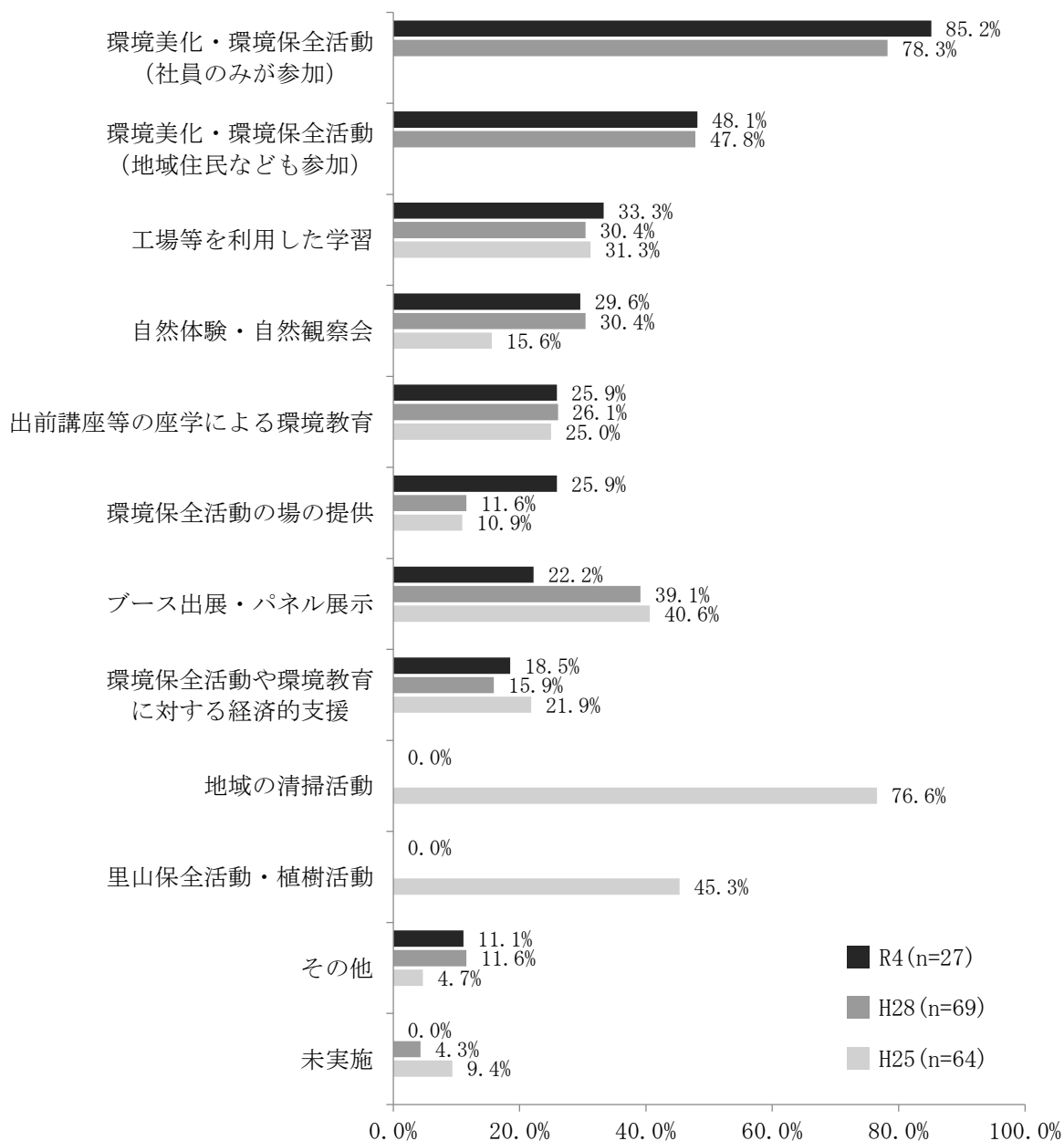
- ・eco 検定取得の支援

問3 SDGsに関する取組を推進するため、環境教育、植樹活動や地域の清掃活動、地球温暖化対策に関する活動などの環境保全活動を実施する事業者が増えています。

貴社において、どのような環境教育や環境保全活動を実施しましたか。

【〇は複数可】

※環境美化・環境保全活動・・・清掃活動、植樹活動、里山保全活動など

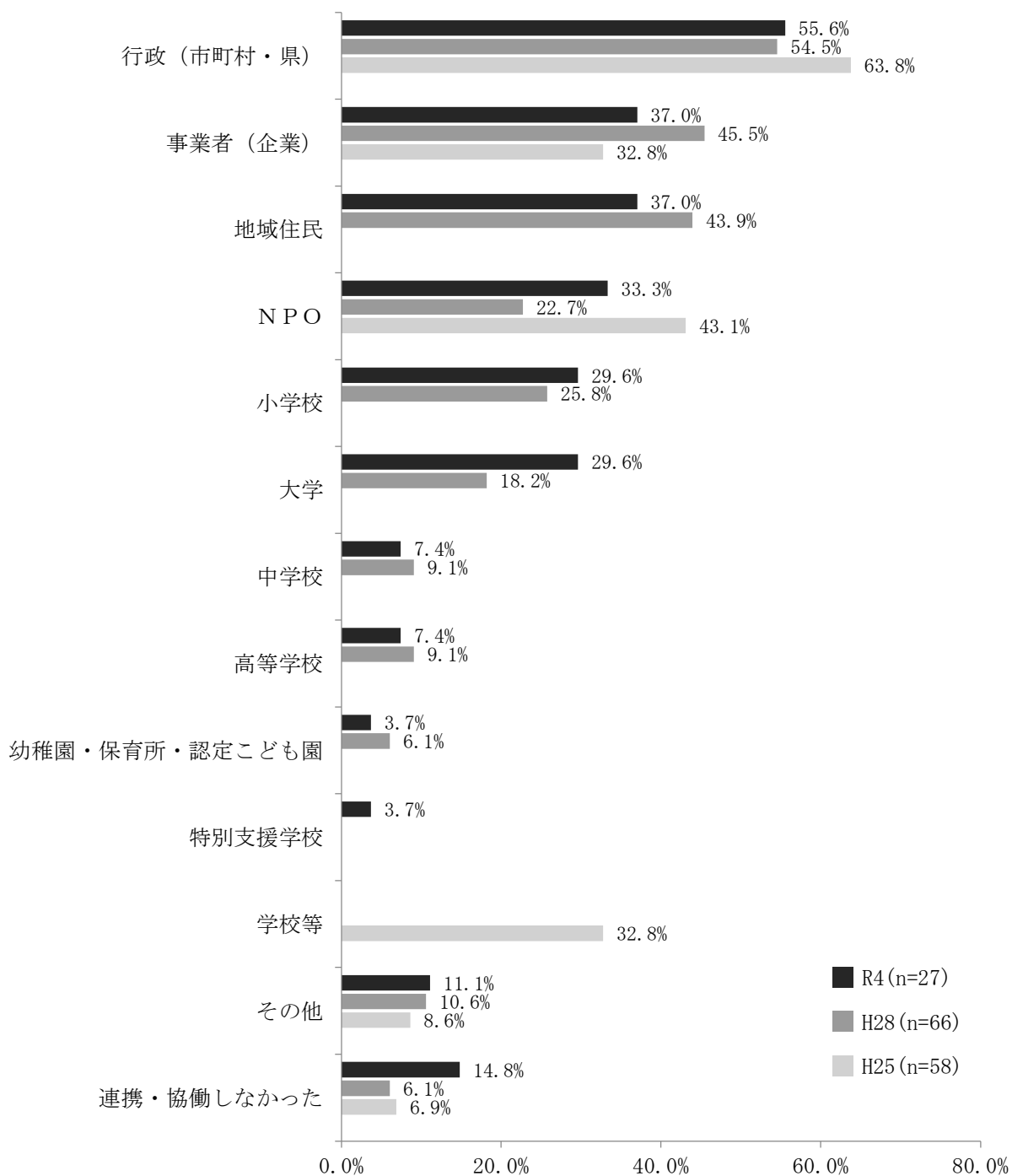


<その他> (抜粋)

・「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」研究チームへの支援

問4 環境教育や環境保全活動を実施している事業者にお聞きします。

環境教育や環境保全活動を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。【〇は複数可】



〈その他〉（抜粋）

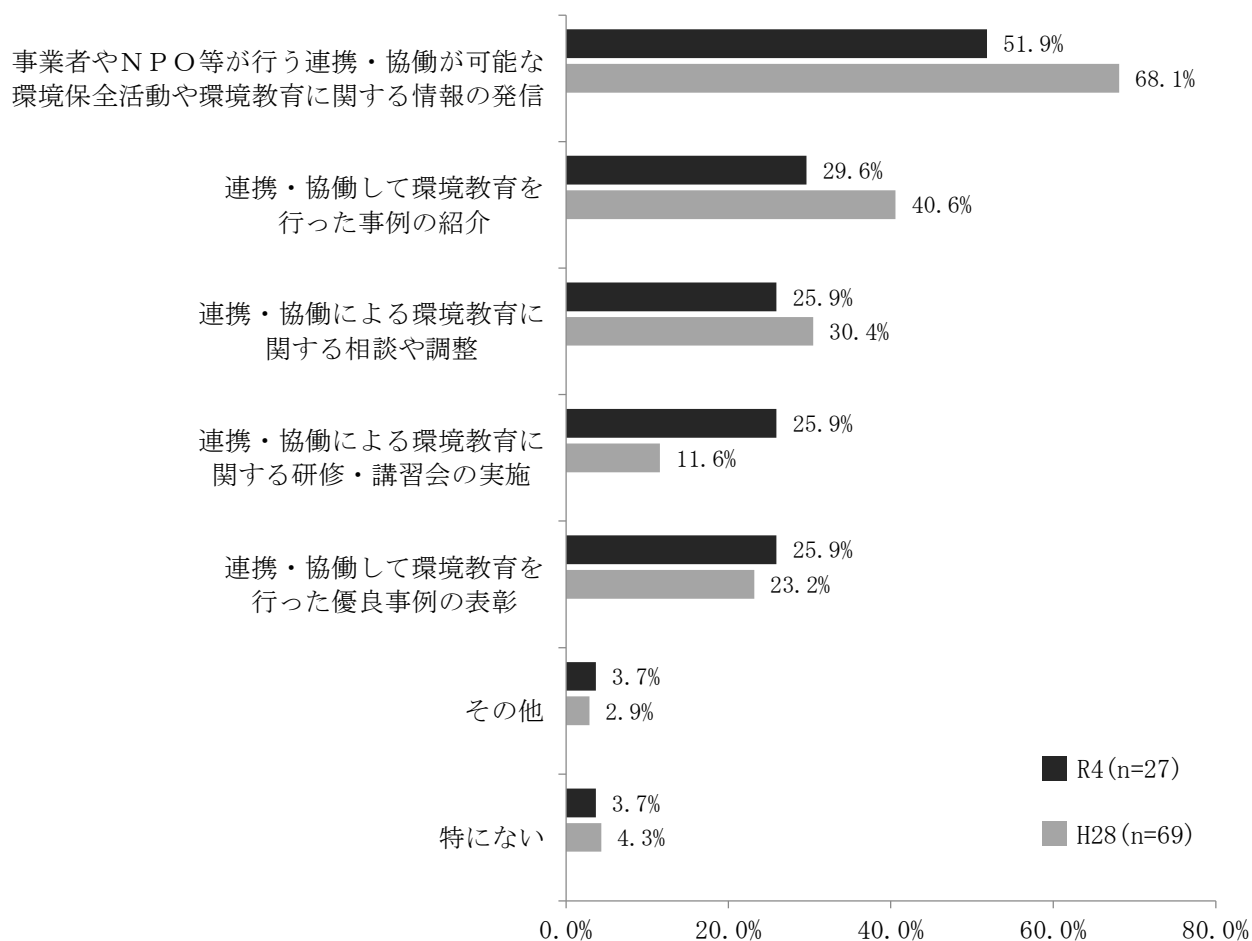
- ・国の地方機関
- ・森林組合

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・連携・協働のメリットが分かれば実施したい
- ・社員の業務負担増とならない範囲でできる方策があれば実施したい

問5 学校やNPO、行政などとの連携・協働により事業者が持つノウハウ、人材、施設等をさらに環境教育に活かすことで、より実践的に実感を伴った環境教育の実施につながることを期待されます。

事業者のこうした取組を推進していくうえで、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は2つ】



〈その他〉（抜粋）

- ・事業者が参画しやすい環境教育の企画の提供

問6 貴社において実施している環境教育や環境保全活動で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

14 事例

VI NPO

環境保全を図る活動を行う者

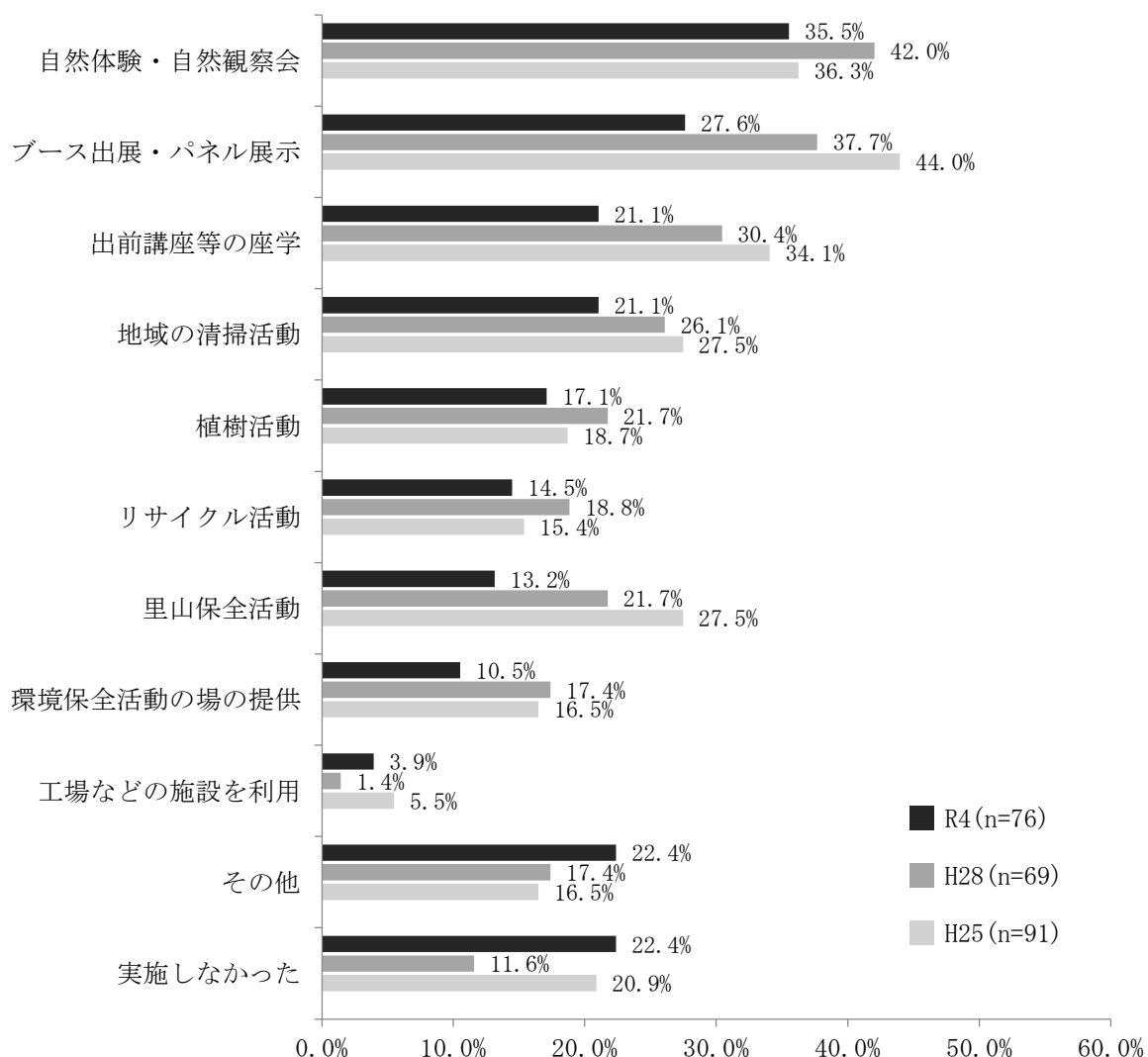
2022(R4) : 76/387 者 (19.6%)

2016(H28) : 69/404 者 (17.1%)

2013(H25) : 91/427 者 (21.3%)

問1 多くのNPOが、地域のリサイクル活動や自然保護活動などの環境保全活動や自然観察会、水生生物調査、地球温暖化対策などの環境学習を実施し、地域の環境に貢献しています。

貴団体では、どのような環境保全活動や環境学習を実施しましたか。【〇は複数可】



<その他> (抜粋)

- ・野菜の栽培
- ・耕作放棄農地の再生と活用
- ・竹林整備
- ・海中清掃

<実施しなかった理由> (抜粋)

- ・コロナ感染対策のため活動をやめていた
- ・環境に関する活動をしていない
- ・防災・減災活動に注力しているため

問2 参加者から好評であった環境保全活動や環境学習の内容及びその参加人数を1事例ずつ御記入ください。

区分	回答数	参加人数平均	中央値
学校向け	20/59 (33.9%)	259.9	58
その他	41/59 (69.5%)	107.7	35

〈学校向け〉 (抜粋)

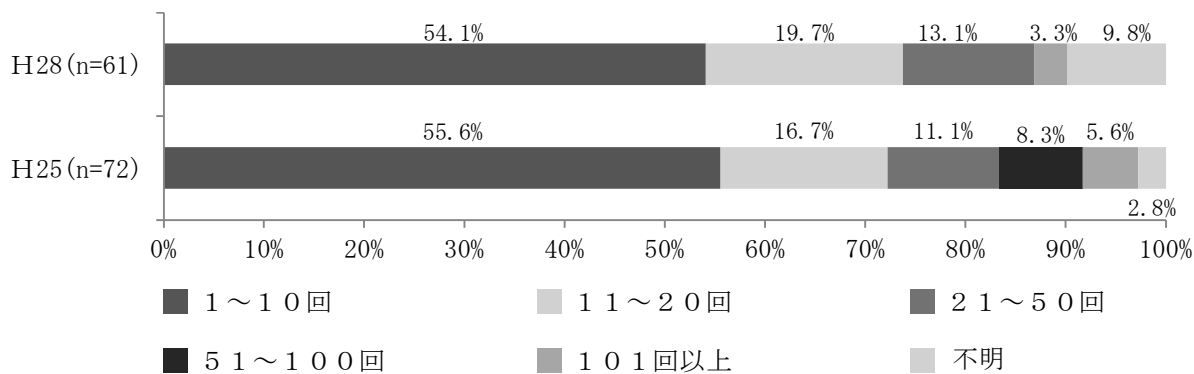
- ・ 蛍の環境整備と幼虫の放流 (75人)
- ・ 食品ロス削減とフードバンク活動 (50人)

〈その他〉 (抜粋)

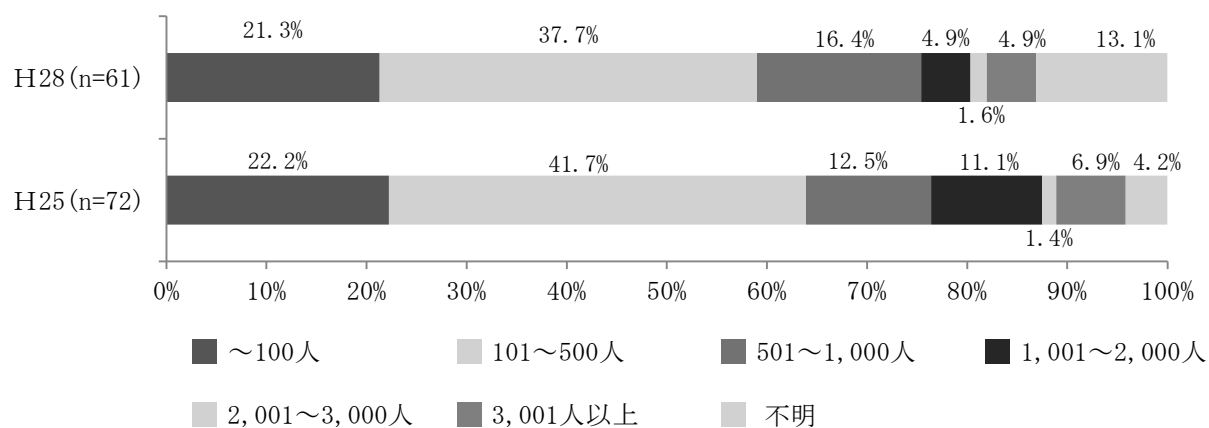
- ・ 海的环境を学ぶ会 (1065人)
- ・ いきもの観察会や竹林整備 (280人)
- ・ 植樹・自然観察会 (150人)
- ・ 間伐材を利用したテーブル、椅子づくり (80人)

参考 環境保全活動や環境学習を何回実施しましたか。

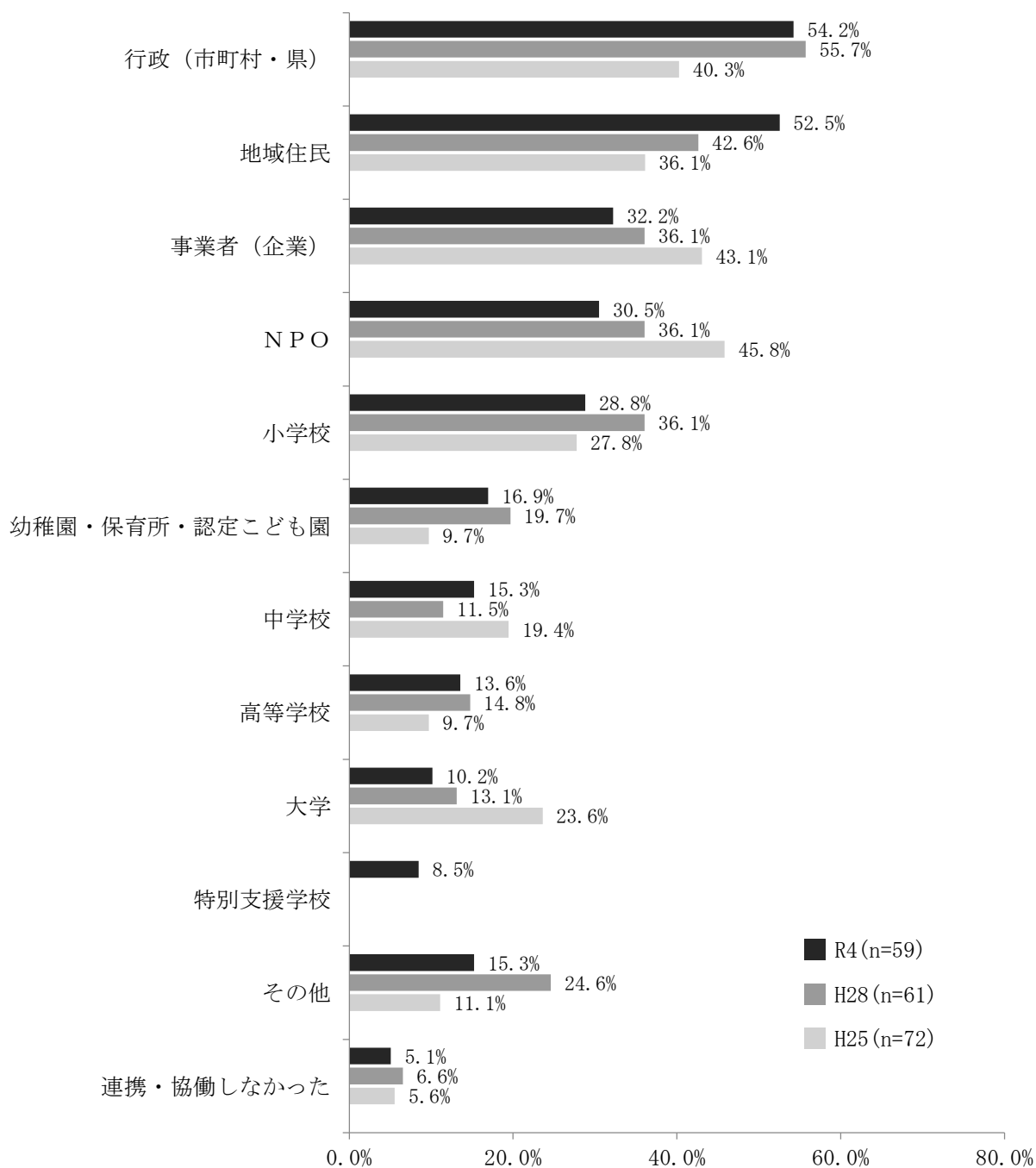
【回数】



【参加人数】



問3 環境保全活動や環境学習を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。【〇は複数可】



〈その他〉（抜粋）

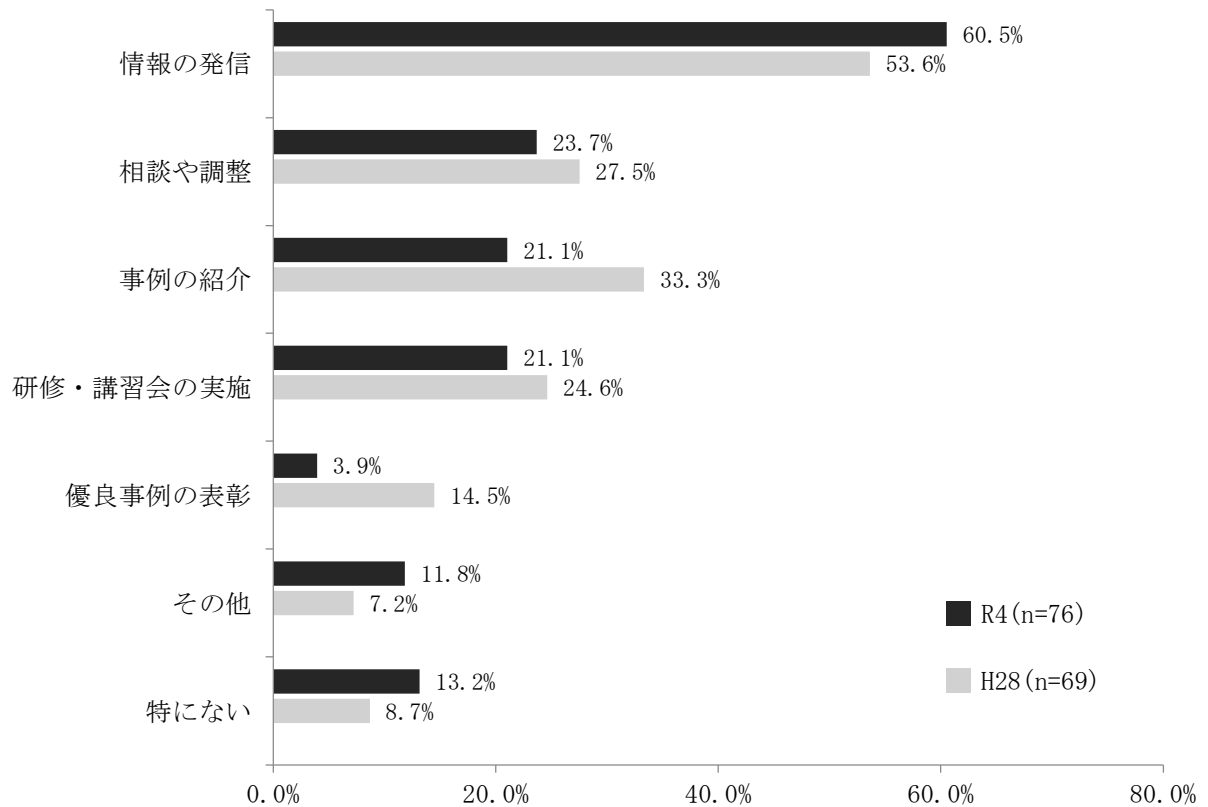
- ・ロータリークラブ
- ・寺院仏閣
- ・商工会議所
- ・観光協会
- ・障がい者支援施設

〈連携・協働しなかった理由〉（抜粋）

- ・児童クラブ員とその父兄で実施のため、特に連携はしない。

問4 学校や事業者、行政などとの連携・協働によりNPOが持つノウハウ、人材、施設等をさらに環境学習に活かすことで、より実践的に実感を伴った環境学習の実施につながることを期待されます。

NPOのこうした取組を推進していくうえで、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は2つ】

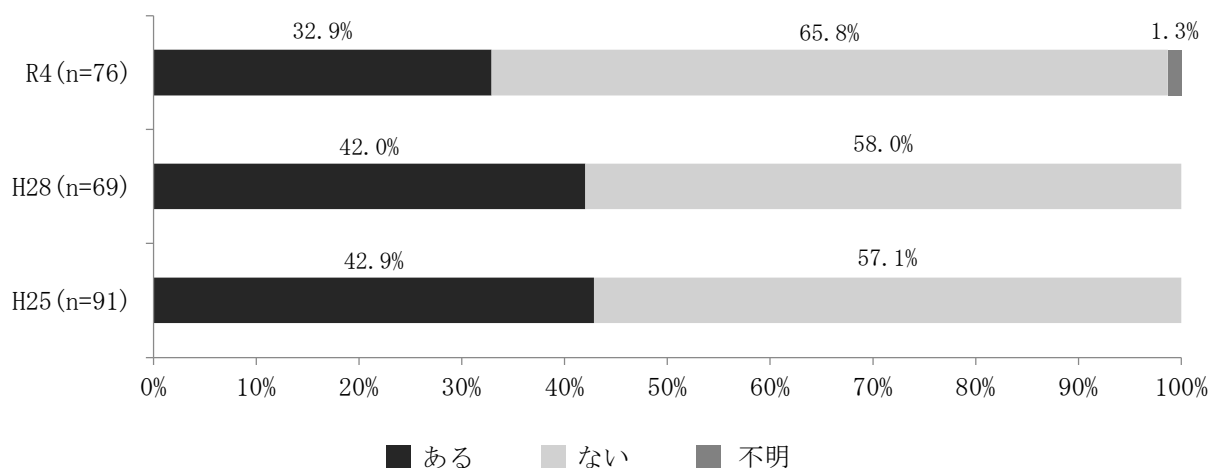


〈その他〉(抜粋)

- ・ 場所の提供
- ・ 補助金等の資金的支援

問5 環境学習を推進するためには、環境学習を受けたい人と環境学習を提供したい人とをつなぎ、調整するコーディネーターの活用が有効です。

貴団体は、コーディネーターの役割（講師の派遣だけでなく、活動・学習内容の調整を含む）を担ったことがありますか。



問6 貴団体が実施している環境保全活動や環境学習で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

36 事例

Ⅶ P T A

全体：689/1,588 (43.4%)

幼稚園等：20/336園(6.0%)

小学校：377/697校(54.1%)

中学校：157/314校(50.0%)

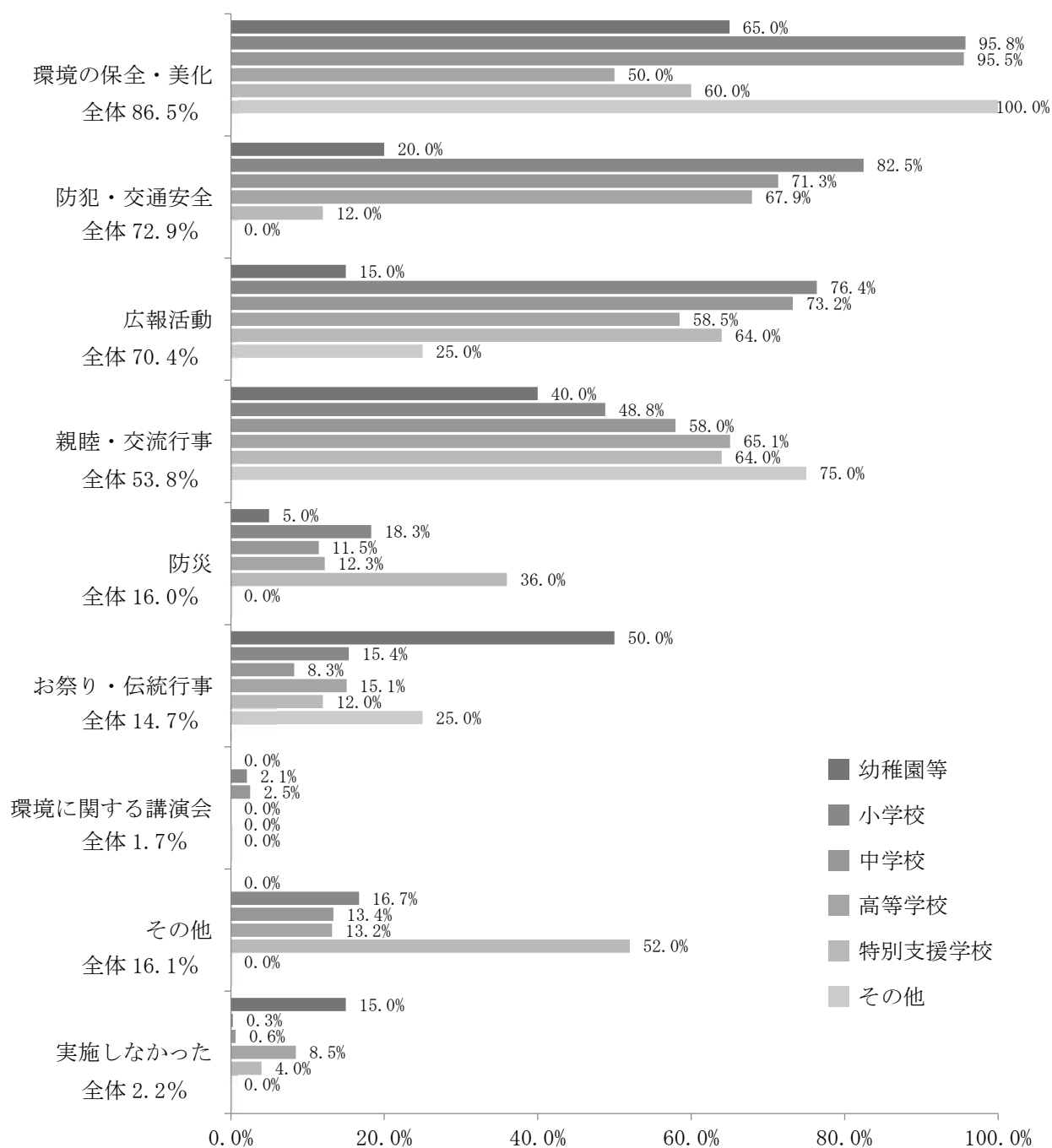
高等学校：106/203校(52.2%)

特別支援学校：25/33校(75.8%)

その他※：4/5校(80%)

※義務教育学校、公立小学校・中学校、私立中学校・高等学校

問1 P T Aの活動として、貴団体が取り組んでいることは何ですか。【〇は複数可】



〈その他〉(抜粋)

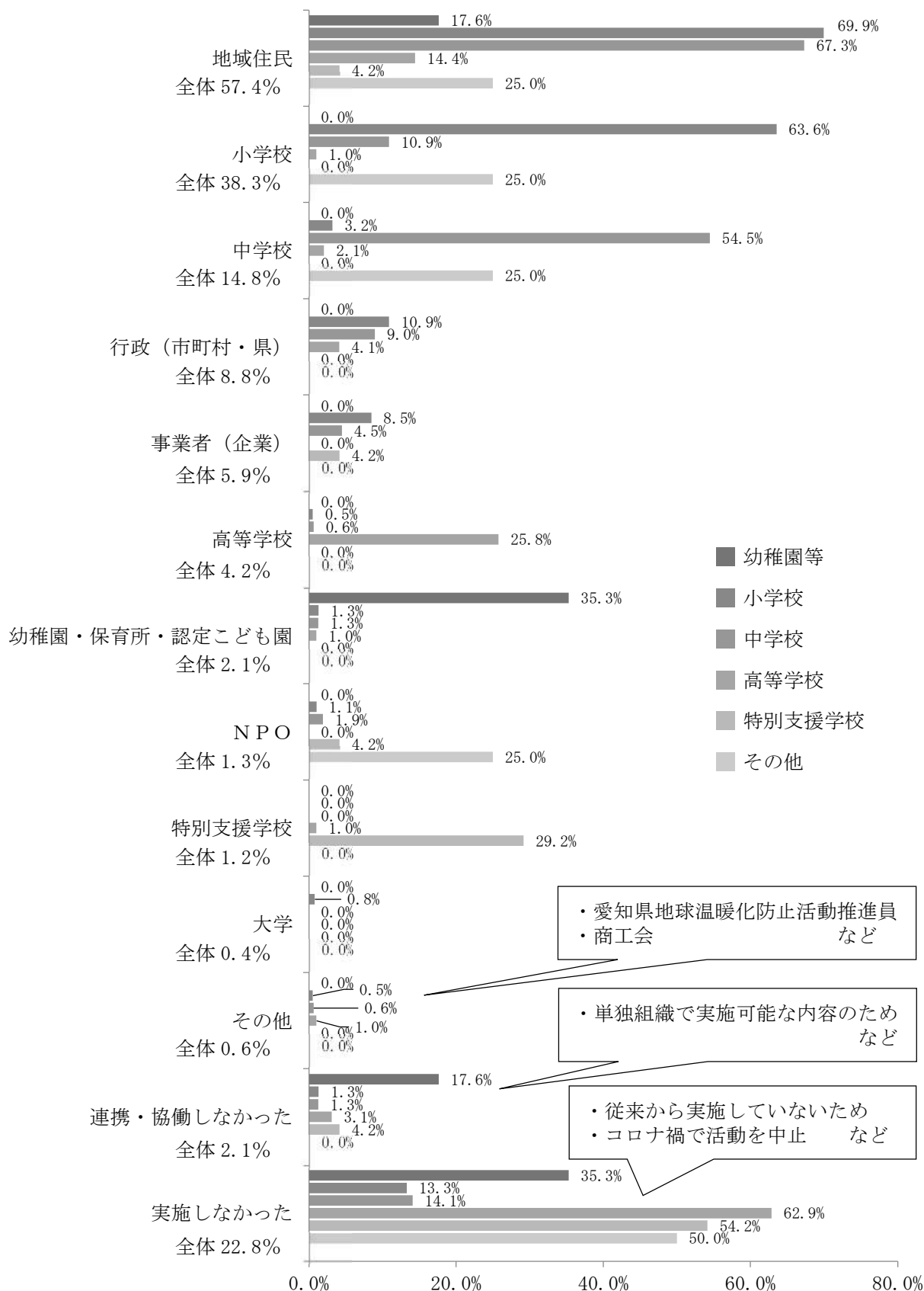
- ・あいさつ運動
- ・講演会
- ・学校保健委員会への参加

〈実施しなかった理由〉(抜粋)

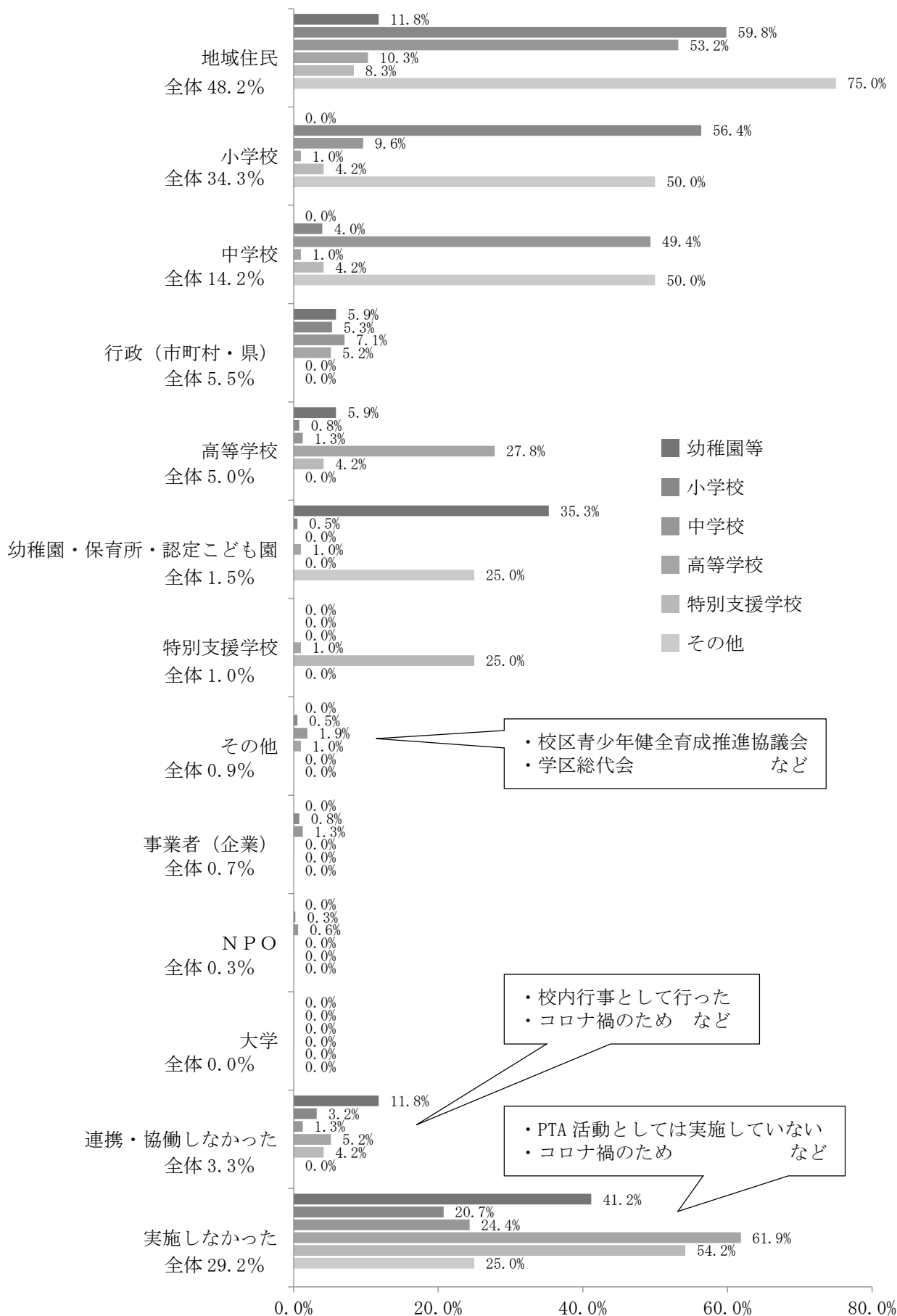
- ・コロナ禍により活動を自粛している

問2 (1)～(3)のそれぞれについて、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。※幼稚園～特別支援学校については、貴団体を構成している主体である場合も含みます。

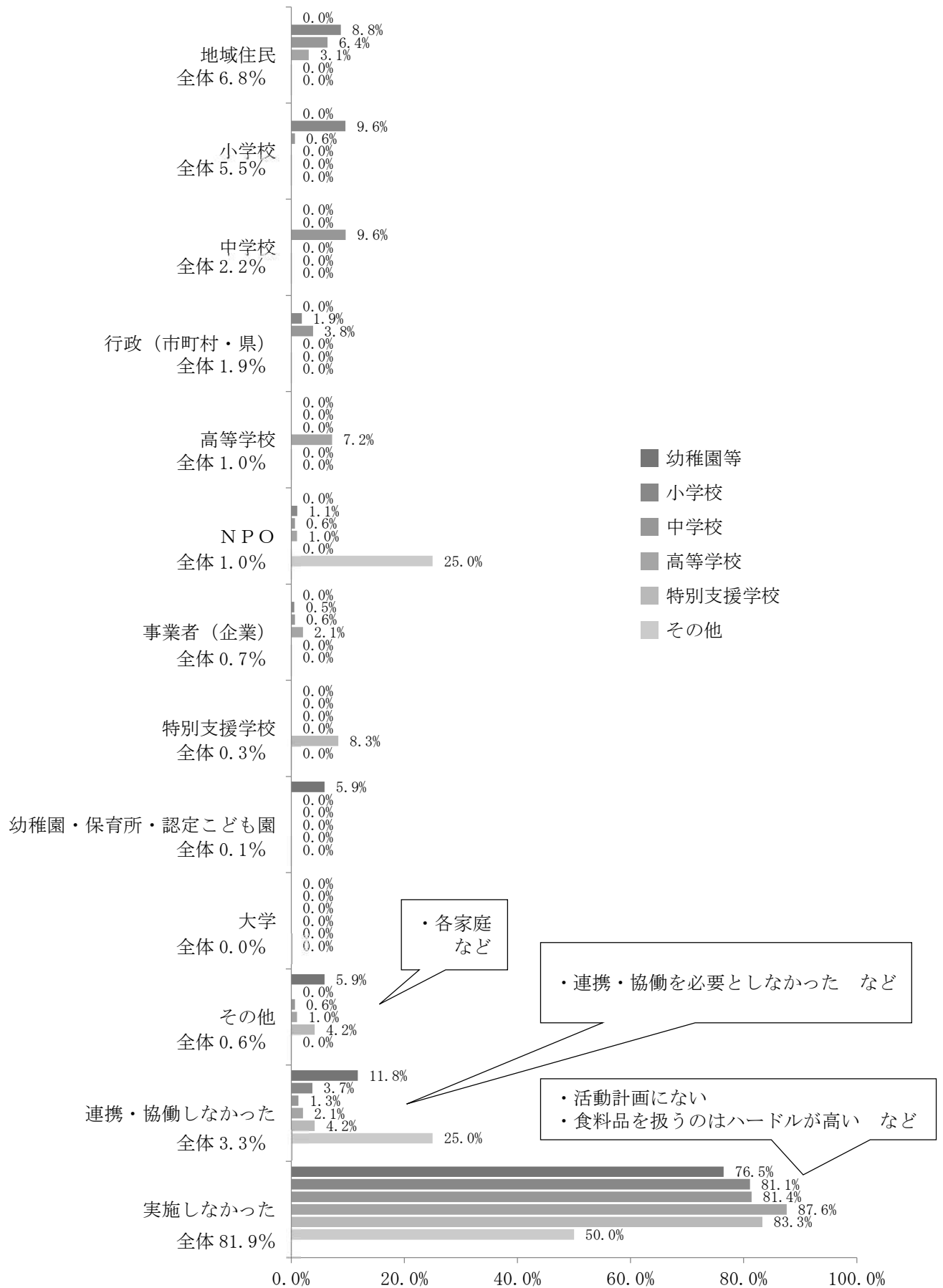
(1) 地域のリサイクル活動、自然保護活動、地球温暖化対策に関する活動などの環境保全活動【〇は複数可】



問2(2) 地域の清掃活動や草取りなどの環境美化活動【〇は複数可】



問2 (3) フードドライブ等の環境に関する活動【〇は複数可】



問3 貴団体が実施している環境保全活動（リサイクル活動、自然保護活動、地球温暖化対策に関する活動等）や環境美化活動（清掃活動、草取り等）で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。【自由記載】

回答合計 136事例

幼稚園等 2事例

小学校 78事例

中学校 36事例

高等学校 12事例

特別支援学校 6事例

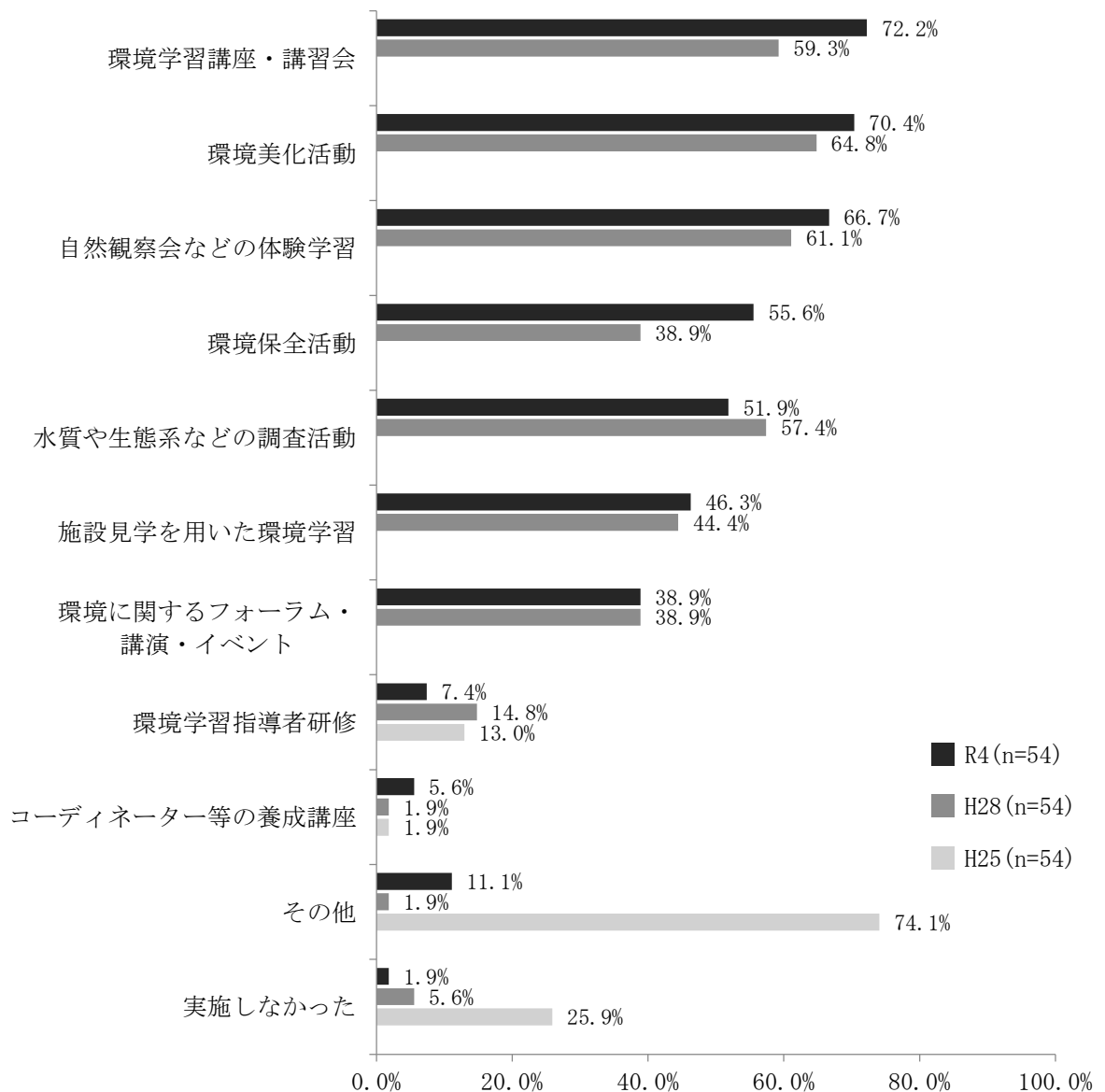
その他 2事例

VIII 市町村

回答

2022 (R4) : 54/54 市町村 (100%) 2016 (H28) : 54/54 市町村 (100%)
 2015 (H27) : 54/54 市町村 (100%) 2014 (H26) : 54/54 市町村 (100%)
 2013 (H25) : 54/54 市町村 (100%)

問1 貴市町村は、地球温暖化対策を始めとする様々な環境対策を進めるため、地域においてどのような環境学習や指導者の育成を実施しましたか。【○は複数可】



〈その他〉(抜粋)

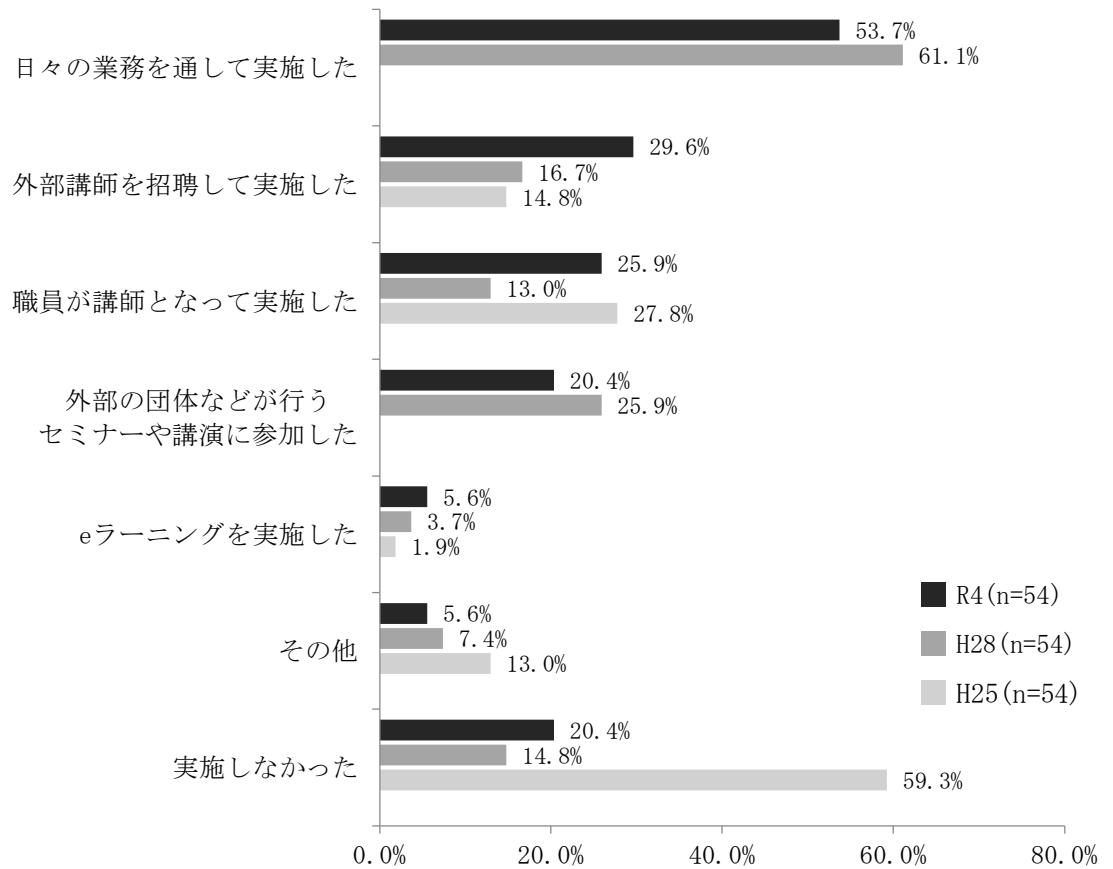
- ・ ボランティア養成講座
- ・ アカウミガメ実態調査員養成講座、小学4、5年生向けの社会科資料集作成及び配布

〈実施しなかった理由〉(抜粋)

- ・ 人員不足

問2 貴市町村は、職員に対してどのように環境学習を実施しましたか。

【○は複数可】



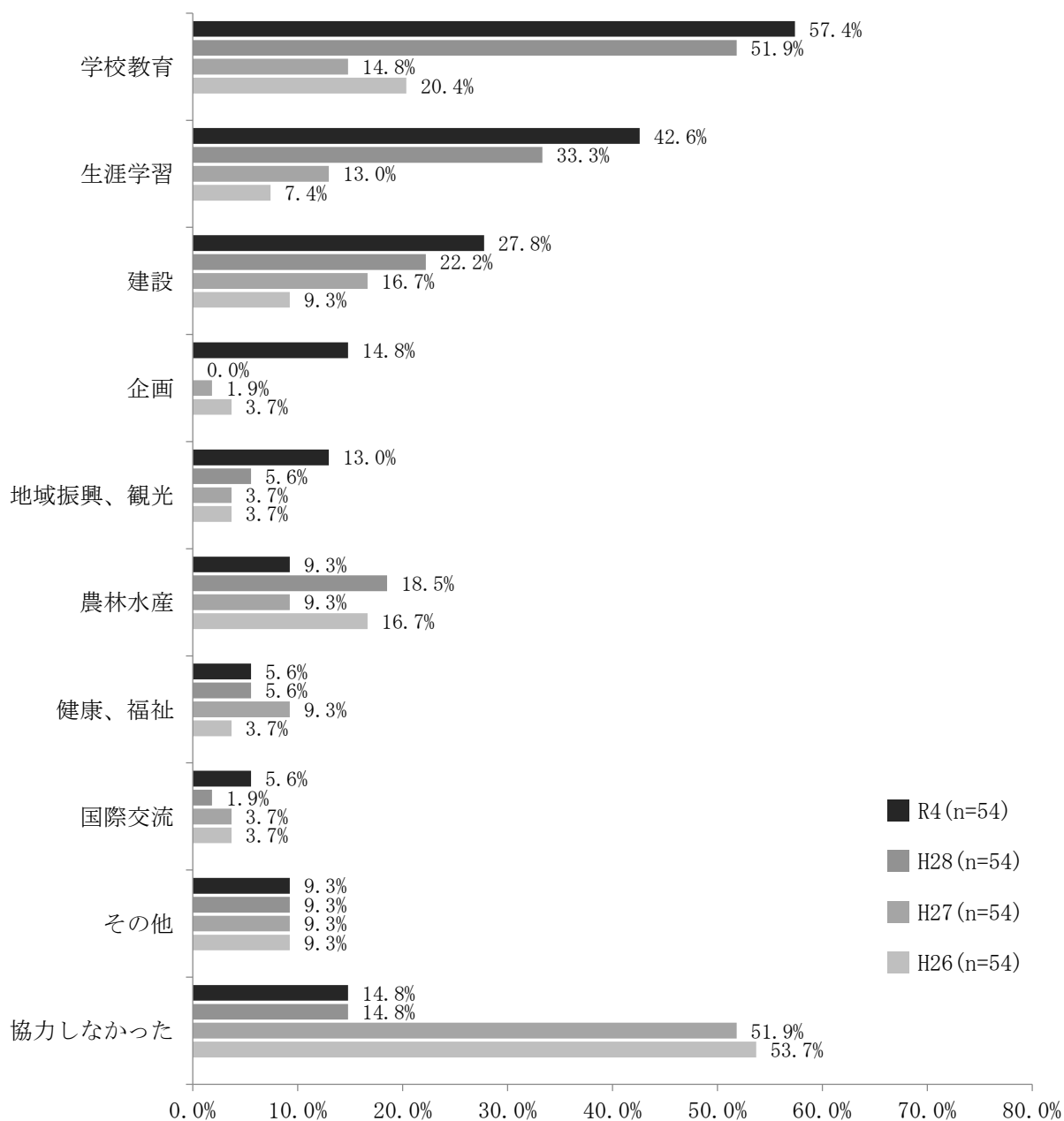
〈その他〉（抜粋）

- ・定期的に通知を発出した
- ・温室効果ガスについての掲示物の配布

〈実施しなかった理由〉（抜粋）

- ・人員不足
- ・時間に余裕がない
- ・要望がなかったため
- ・幸田町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）により各課に対し幸田町が取り組む環境政策をすでに共有しているため。

問3 環境学習を実施する際、環境部局のみならず、農林水産、学校教育、生涯学習、地域振興、国際交流等を所管する他部局と協力しましたか。【〇は複数可】



〈その他〉（抜粋）

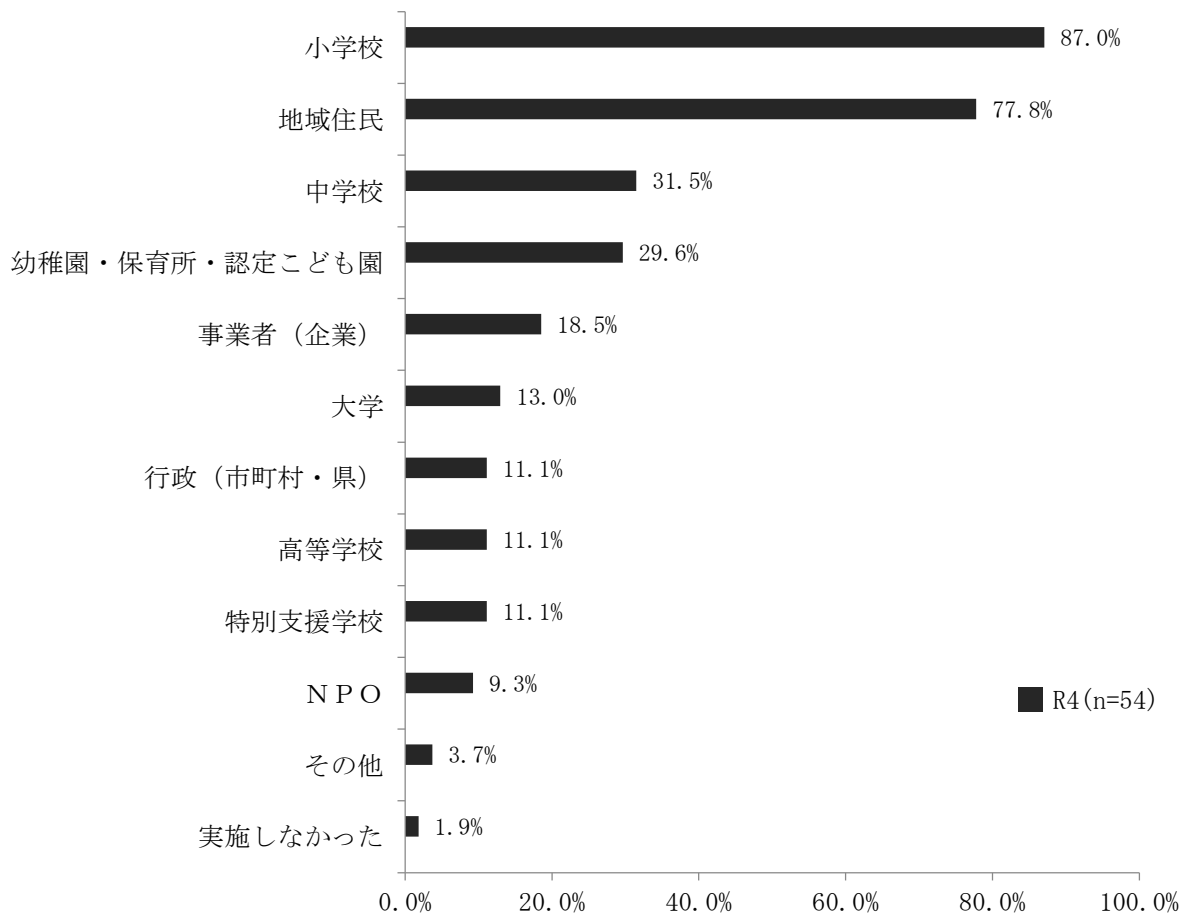
- ・文化財
- ・防災（市民安全課）
- ・スポーツ振興課
- ・子育て支援課
- ・上下水道局

〈協力しなかった理由〉（抜粋）

- ・必要がなかったため
- ・町が行う環境共育講座は地域住民等が対象で、知多自然観察会や地元のNPOなどと協力して行うため、他部署との連携は特にありません。
- ・人員不足
- ・協力する事業がなかったため

問4 (1) どのような主体に対し、環境学習を行いましたか。【〇は複数可】

(環境学習の例) 環境学習講座・研修会、調査、体験学習 など



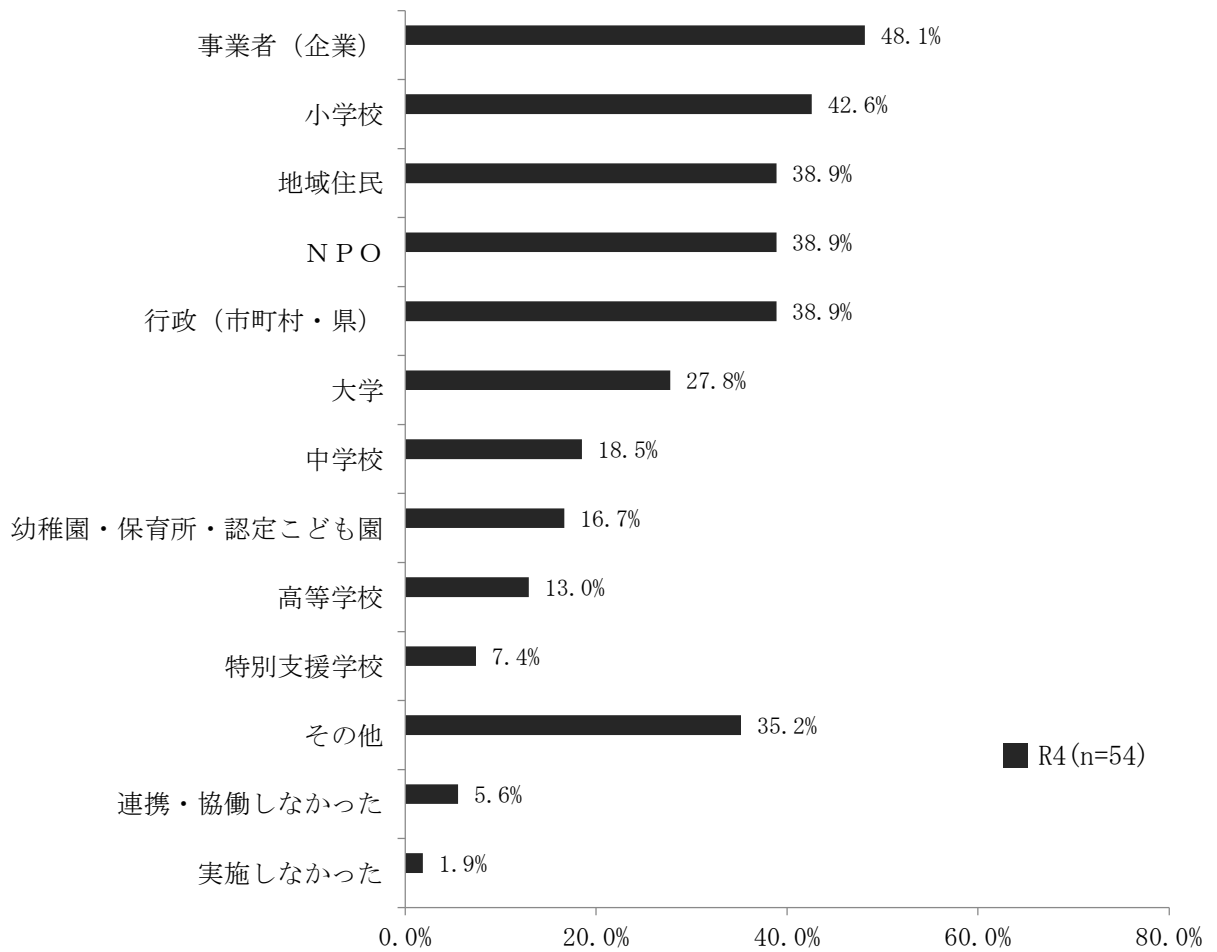
<その他> (抜粋)

- ・放課後子ども教室

<実施しなかった理由> (抜粋)

- ・人員不足

問4(2) (1)を実施する際、どのような主体と連携・協働しましたか。【〇は複数可】
 (環境学習の例) 環境学習講座・研修会、調査、体験学習 など



〈その他〉 (抜粋)

- ・愛知県食品衛生協会、530運動環境協議会
- ・半田こどもエコクラブ
- ・キャンプカウンセラーサークル、都市緑化植物園みどりの相談所相談員
- ・自然観察会
- ・ごみ減量化等推進協議会、国 (庄内川河川事務所)

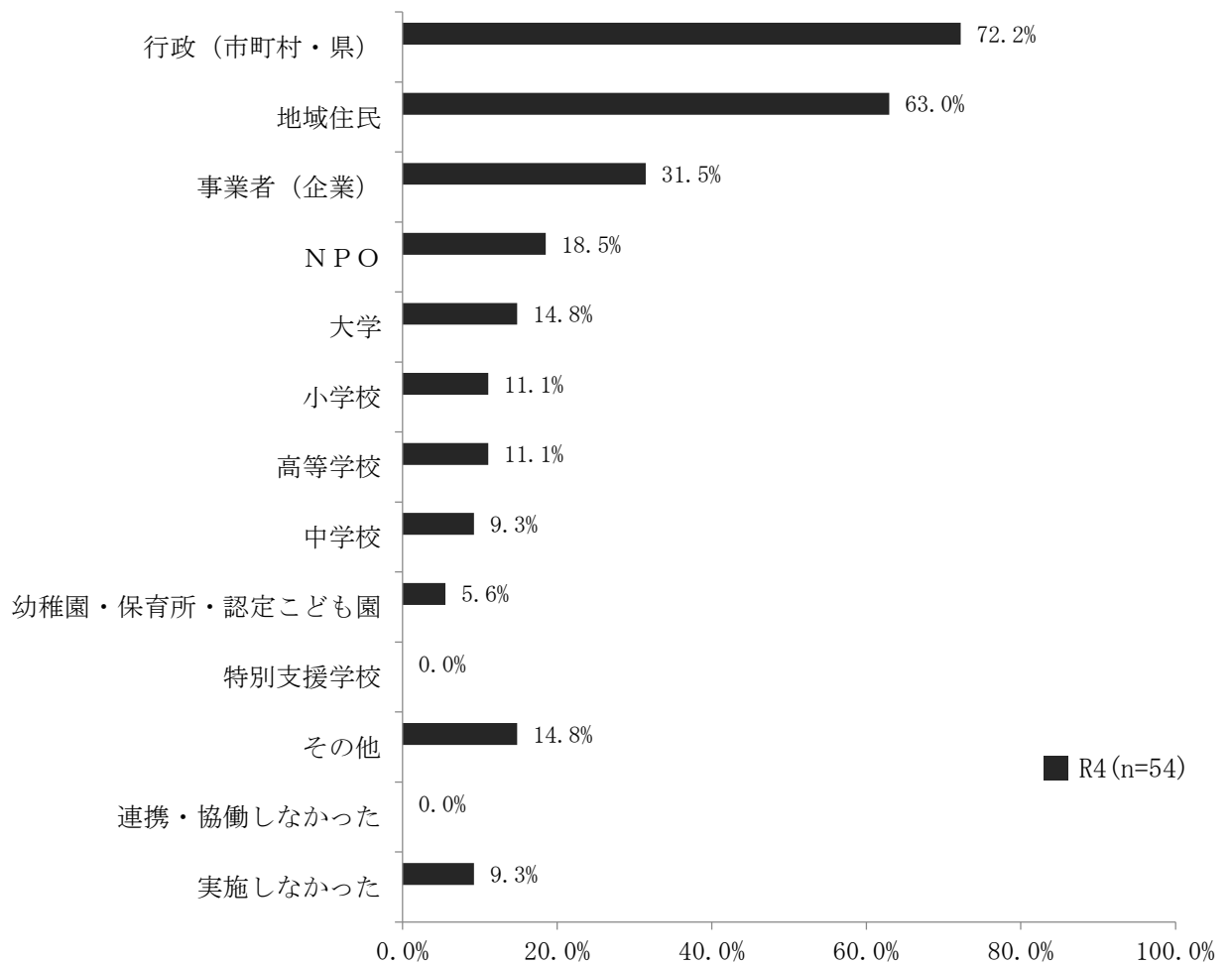
〈連携・協働しなかった〉 (抜粋)

- ・独自での実施
- ・必要がなかった

〈実施しなかった理由〉 (抜粋)

- ・人員不足

問4(3) 上記以外の場合、どのような主体と連携・協働しましたか。【〇は複数可】
 (上記以外の例) 地域の清掃活動、地域づくりのネットワーク形成、イベント開催、AELネット環境学習スタンプラリーに参加 など



<その他> (抜粋)

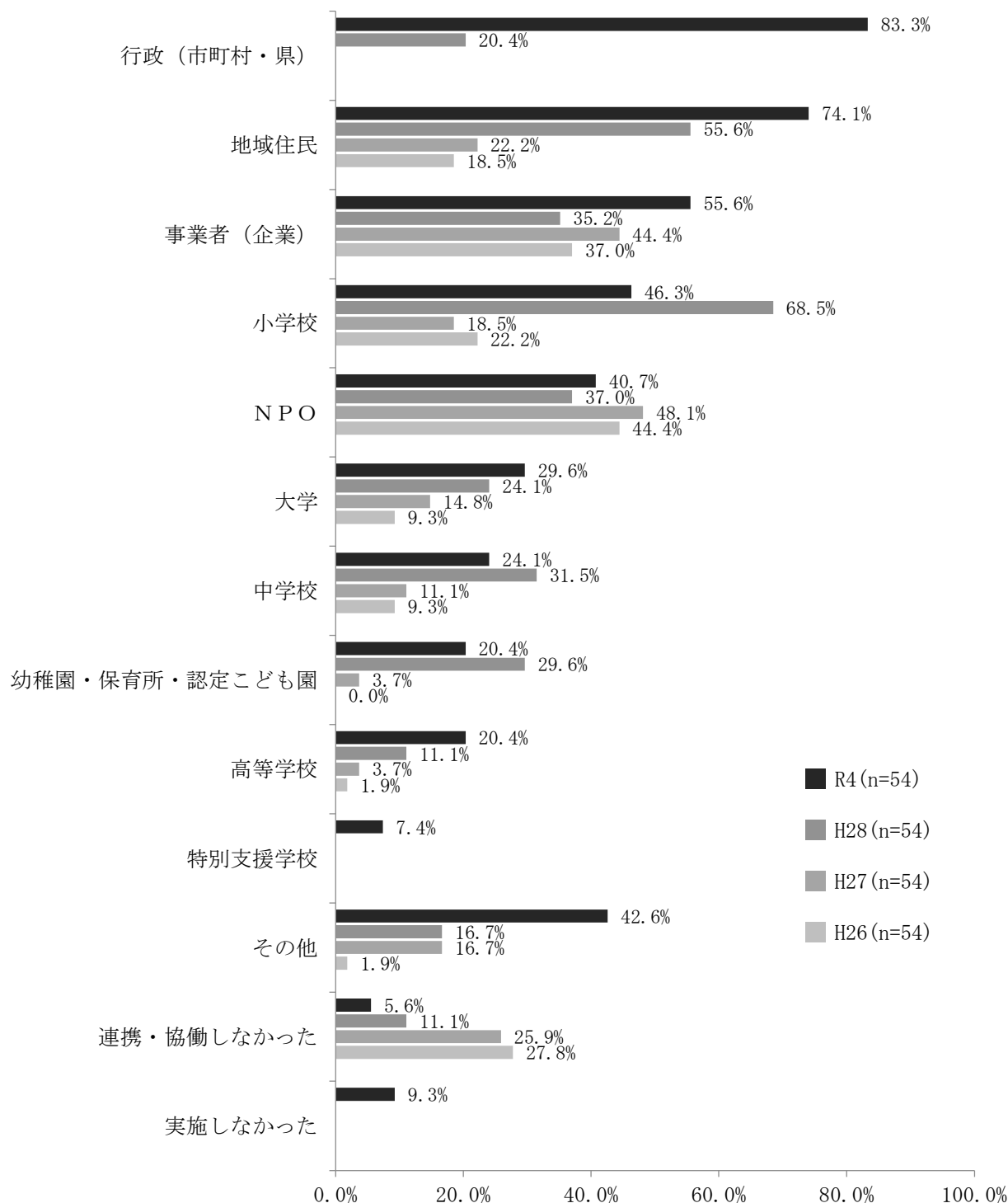
- ・アウトドアタレント

<実施しなかった理由> (抜粋)

- ・人員不足
- ・開催のノウハウが無い

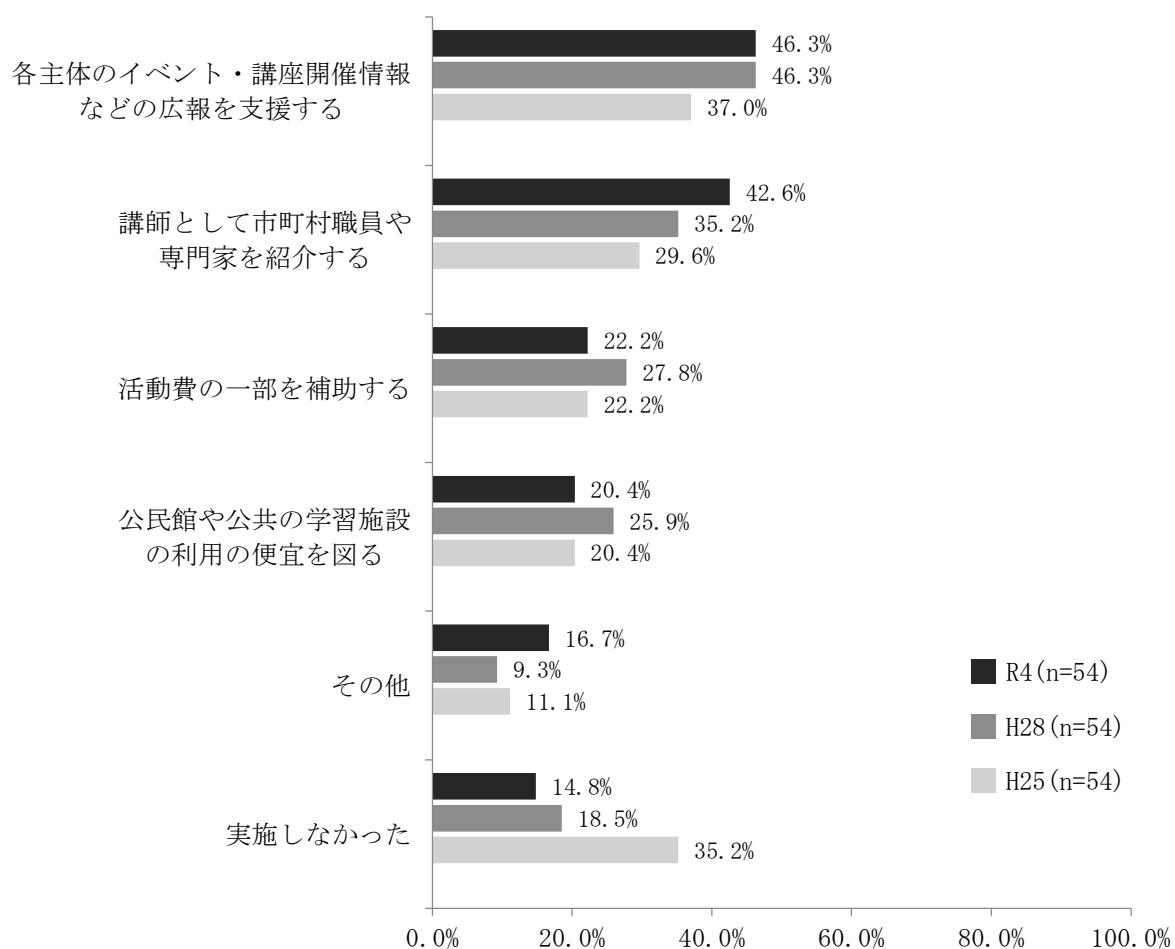
過去との比較

どのような主体と連携・協働して環境学習を実施しましたか。



・設問の主旨を踏まえ、問4(2)、(3)を併せて集計した結果と、2014(H26)～2016(H28)年度の結果を比較したもの。

問5 NPOや事業者、学校等が実施している環境学習の内容について、どのような支援をしましたか。【〇は複数可】



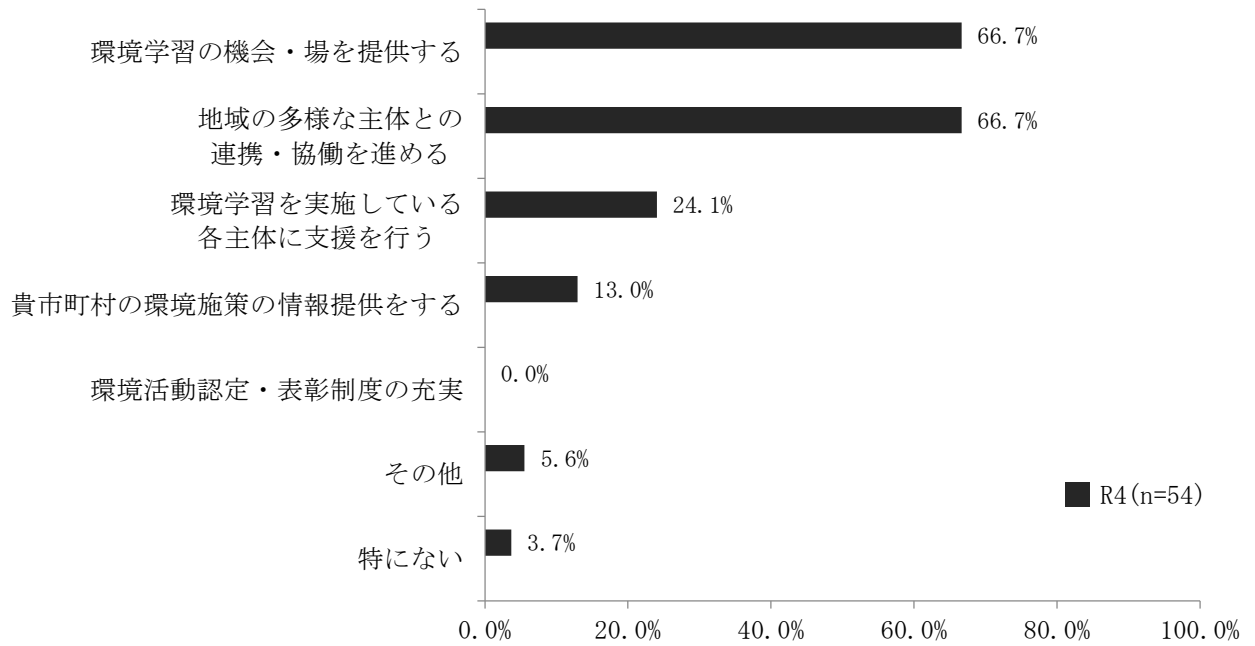
<その他> (抜粋)

- ・調査道具の貸出、資材の提供
- ・活動場所や他団体との協働のコーディネート
- ・大学生地域貢献事業団体と連携し、食品ロス削減への取組を支援
- ・職員によるお手伝い

<実施しなかった理由> (抜粋)

- ・支援できる体制が整ってないため、時間、人員不足
- ・支援・連携の申出が特になかったため。
- ・実施している環境学習を把握していないため。

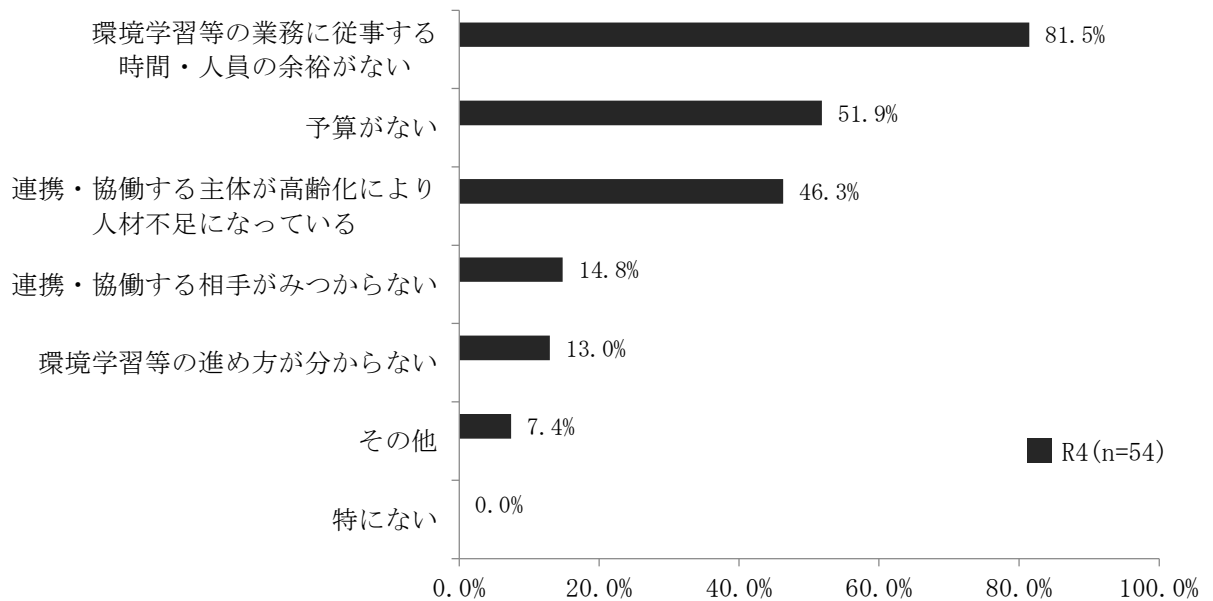
問6 今後、地域の多様な主体による地域特性を踏まえた環境学習等の取組を進めるために、重要だと考えることは何ですか。【〇は2つ】



<その他> (抜粋)

- ・人材、予算
- ・新たな人材の発掘、育成

問7 今後、地域の多様な主体による地域特性を踏まえた環境学習等の取組を進めるうえで、妨げとなっていることは何ですか。【〇は複数可】



<その他> (抜粋)

- ・公園や河川などの施設管理者との調整
- ・「地域の多様な主体」がない

問8 地球温暖化対策を始めとする様々な環境対策を進めるため、貴市町村において実施している環境学習等で、力を入れている取組、紹介したい事例がありましたら、御記入ください。(自由記載)

15 事例

問9 地域の多様な主体による地域特性を踏まえた環境学習等の取組を進めるために、別添調査票1、2についても御回答ください。

調査票1：市町村と地域団体（自治会、コミュニティ、老人クラブ、子ども会）が連携・協働して行った環境保全活動や環境学習

調査票2：地域団体（自治会、コミュニティ、老人クラブ、子ども会）が行った環境保全活動や環境学習

調査票1 市町村と地域団体が連携・協働して行った環境保全活動や環境学習

・連携・協働している環境学習の分類と事例数の上位8市町村

	環境に関するイベント・講演*	環境学習講座・講習会	環境美化活動	環境保全活動	自然観察会などの体験学習	水質や生態系などの調査活動	その他	計
回答数	9	24	20	12	33	7	21	126
回答数のうち、事例数が上位8市町村								
岡崎市		3	5				20	28
日進市	1	7			8	1		17
田原市	3	1			10			14
春日井市			2	2	2	3		9
半田市		1			5			6
碧南市	1		3		2			6
西尾市				6				6
北名古屋市		6						6

※主催ではなくブース出展やパネル展示含む

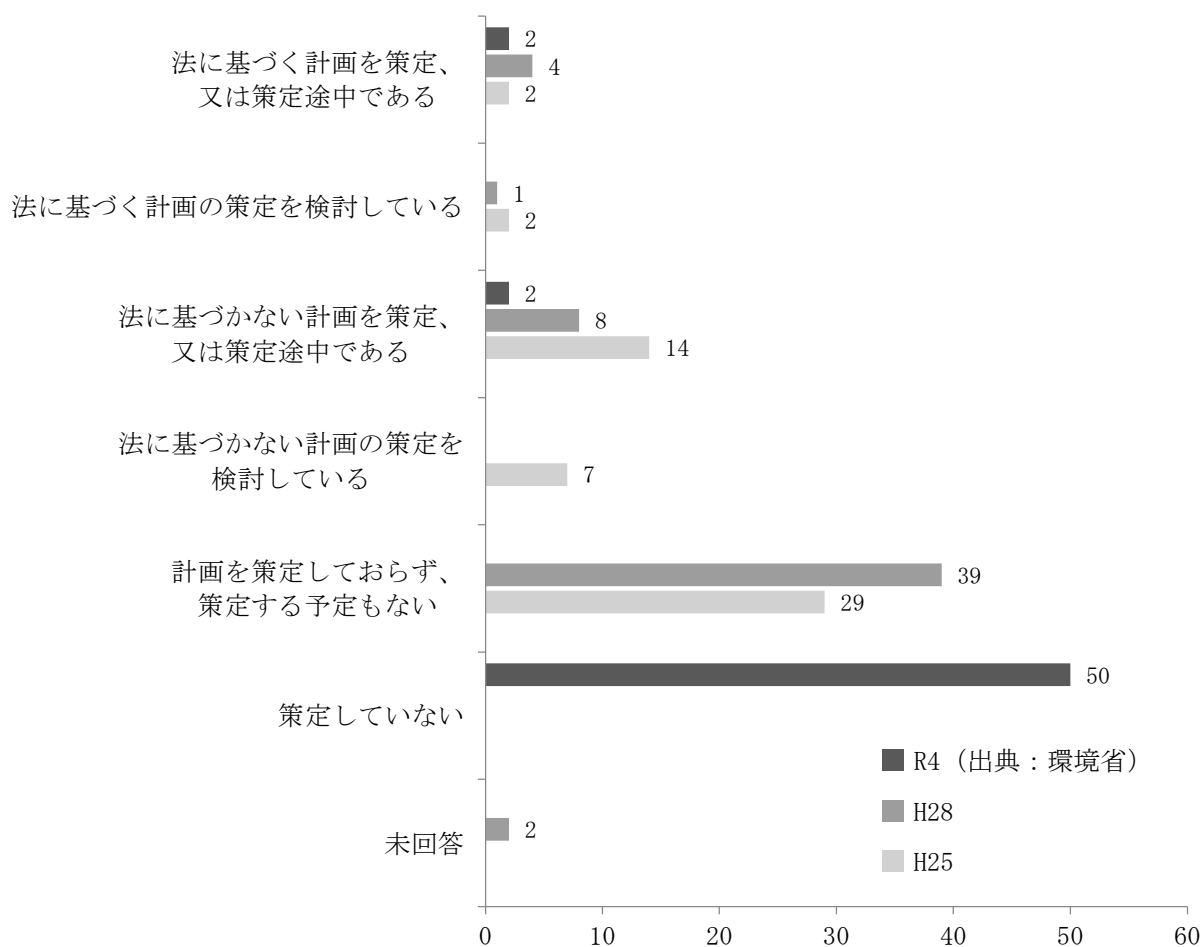
調査票2 地域団体が行った環境保全活動や環境学習

・実施した環境学習の分類と事例数の上位5市町村

	環境に関するイベント・講演*	環境学習講座・講習会	環境美化活動	環境保全活動	施設見学を用いた環境学習	自然観察会などの体験学習	水質や生態系などの調査活動	その他	計
回答数	3	1	40	47	1	9	2	1	104
回件数のうち、事例数が上位5市町村									
知立市			1	34					35
西尾市			28						28
日進市	2	1	1	2		3			9
半田市				1		4	1		6
犬山市			3	3					6

※主催ではなくブース出展やパネル展示含む

参考 環境学習に関する計画の策定状況



〈法に基づく行動計画〉

- ・ なごや環境学習プラン（名古屋市、2016(H28). 3)
- ・ 第2次岡崎市環境基本計画（岡崎市、2021(R3). 3)
- ・ 岡崎市環境教育推進計画（岡崎市、2014(H26). 3)

〈法に基づかない行動計画〉

- ・ 第2次豊橋市環境基本計画（豊橋市、2016(H28). 3)
- ・ 豊橋市環境学習等実行計画（豊橋市、2013(H25). 1)
- ・ 豊橋市環境基本条例（豊橋市、1996(H8). 4)
- ・ 豊橋市地球温暖化対策地域推進計画（豊橋市、2016(H28). 3)
- ・ 第2次一宮市環境基本計画（一宮市、2014(H26). 3)

※名古屋市、岡崎市には法に基づかない行動計画もあるが、法に基づく行動計画を優先して計上している。